

平成22年度文部科学省委託事業

PTA人権研修会のための
人権学習プログラム集



平成23(2011)年3月

鳥取県人権教育調査研究委員会

はじめに

鳥取県人権教育調査研究委員会では、平成18年度から文部科学省の「人権教育推進のための調査研究事業」を受託し、各市町村で実施されている小地域懇談会で使用する普遍的な視点に立った参加型人権学習プログラムなどを開発し、現在、多くの市町村において活用していただいているところです。

平成22年度は、『社会教育による地域の教育力強化プロジェクト』における実証的共同研究の委託を受け、学校PTAが主催する人権研修会で活用していただけるよう、「普遍的な視点からの権利を基礎にすえたアプローチ」による参加型人権学習のプログラムを開発し、このたび、人権学習プログラム集として各学校PTAへ普及を図ることとしました。

この人権学習プログラム集は、次のような「思い」で作成しました。

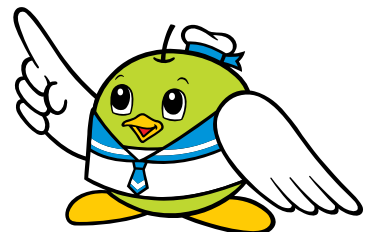
- P T Aの人権研修会で活用していただける「参加型」人権学習プログラムをつくろう。
- P T A役員の方々に学習してみたいと思っただけのものにしよう。
- 「人間関係」をキーワードに、親子、子ども同士、親同士の関係など、人との関わりについて考えることのできるものをつくろう。
- P T Aに関わりのある身近な内容や話題を取り上げ、学習者がエピソード等を交えながら、主体的に学習に参加できる「話の素材」を提供しよう。
- 親子でも学習でき、互いの考えに気づくような人権学習プログラムも入れよう。
- 今後の子育てやPTA活動に役立つ人権学習プログラムにしよう。

このたびは、13の「話の素材」を提供します。「話の素材」をもとに、皆さんで、体験を交えながら話し合うことで、様々な「人権」についての気づき生まれ、「人権」が自分にとって身近なものであることを感じていただけたらと思います。

また、この人権学習プログラムでは、ファシリテーター（学習促進者）が学習をすすめる上で参考となるように「学習のポイント」「すすめ方」「資料」を例として記述しています。しかし、具体的な「すすめ方」は、学習される環境（参加者数、学習形態、場の設定等）によって変わってきますので、「すすめ方」を参考に、それぞれの研修会に合うように変更して活用してください。

そして、この人権学習プログラムを人権研修会で実施された折には、学習してみたの感想や具体的な「すすめ方」の情報（細案等）をお寄せください。この人権学習プログラムの実践例をもとに、さらに実践を重ねていくことで、皆さんと一緒にこの人権学習プログラムを育てていくことができれば幸いです。

平成23年3月



も く じ

はじめに

- ① 人権学習プログラム集の活用にあたって 1
- ② 学習の場づくりと学習のルール 3
- ③ アイスブレイキングで心ほぐしをしましょう 4
- ④ 人権学習プログラム 5
 - (1) それってホント？ 6
(社会意識・ステレオタイプ)
 - (2) おしゃべりカード 13
(子どもの自己決定の尊重・安心安全)
 - (3) 一人一人が輝く素敵な学校を一緒につくりませんか？ 19
(個人の尊重・自己実現)
 - (4) あいさつで人権尊重のまちづくり?! 22
(人間関係・安心安全・自己肯定感・自尊感情)
 - (5) 4つのゾーン 28
(コミュニケーション・人間関係)
 - (6) 心が動くひとつの言葉 30
(人間関係)
 - (7) こまったわね。 37
(自己決定・抑圧と社会構造・多様性と受容)
 - (8) 「こんなメールが…」こんなときどうする?? 40
(情報・リテラシー・自尊感情・自己肯定感)

(9) 猫の世界	45
(上下意識・ステレオタイプ)	
(10) ホップ・ステップ・ジャンプ!	50
(人間関係)	
(11) こどもの世界と権利	53
(権利と正義)	
(12) さあ、どうする?	57
(保護・対立と暴力・抑圧と社会構造)	
(13) あなたのお悩み解決します	59
(尊厳・自由・保護)	
5 実践してみましたコーナー	63
その1 それってホント?	
その2 それってホント?	
その3 おしゃべりカード	
その4 一人一人が輝く素敵な学校を一緒に作りませんか?	
その5 一人一人が輝く素敵な学校を一緒に作りませんか?	
その6 あいさつで人権尊重のまちづくり?!	
その7 4つのゾーン	
その8 心が動くひとつの言葉	
その9 猫の世界	
人権学習プログラムを活用してみました(報告用紙)	84
6 ふりかえりシート	85
鳥取県人権教育調査研究委員会委員名簿	87

人権学習プログラム集の活用にあたって

- 1つの人権学習プログラムは、「話の素材(学習資料)」「学習のポイント」「すすめ方」「資料」の4つの内容で構成しています。
- 人権学習プログラムの特色や利用の仕方について、例を挙げて説明していますので参考にしてください。

話の素材(学習資料)

日常生活の中から、みなさんが体験したことのあるような身近な場面を取り上げ、「話の素材」としました。

参加者の方に、自分の体験やエピソードを交えながら、自由に話し合っていたいただくことを目的としたものです。互いの思いをしっかりと出し合います。

学習のポイント

何故、多くのビジネスマンやセールスマンは、真夏でもネクタイ・スーツを着用するのでしょうか。真夏には半袖シャツにノーネクタイの方が機動的であり業務効率もアップするはずなのですが、「顧客の信頼を得るためにはネクタイ・スーツ着用は欠かせない。」と考えるのが一般的のようです。

人は「身につけている衣類・装飾品」のほか、「家柄・家業」「学歴」「勤務先・肩書き」「住宅、自動車等の財産」など本質(内面)でない要素で他人を評価し、「格差づけ」「見下し」してしまうことがあります。

そのことにより、時として、無意識のうちに他人を傷つけたり、不快な思いをさせたり、また、偏見や人権侵害につながったりもします。私たちみんなが、そのようなことがないように常に留意しておく必要があります。

ここでは、猫を飼っている家庭での何気ない発言や、子どもの結婚相手に望むことを考えることを通じて、本質(内面)でない要素で評価することについて気づき、また、江口いとさんの「人の値うち」を参考にしながら人権について考えます。

ファシリテーター(学習促進者)が学習の参考にしたり、学習の初めに「学習のねらい」を説明したりするときに使います。また、学習の最後に「まとめ」としても活用することができます。(特に大切にしたい視点を赤字で表しています)

9 猫の世界

話の素材(学習資料)



学習のポイント

この学習プログラムのねらいや、話し合いのポイント等をまとめて記述しています。

人権研修会の案内を作成する際にも活用いただけます。



おすすめ方 [90分]

目安となる「学習時間」及び主な「準備品」を挙げています。

- 4～5人のグループをつくります。
- 「話の素材」を配り、グループで空白のセリフを話し合います。
→男性のセリフに対して肯定的な立場と否定的な立場の両方のセリフが予想されます。正解はありません。セリフを出し合い、グループで話し合います。
- 自分の子どもが結婚を考える年齢に達したと想定して、親として、どのような相手がお互さわしいと思うかグループで話し合います。
まず、用意した16項目から個人で上位5位までランキング。次にグループで話し合い、3位までランキングを作成します。(「資料1 子どもの結婚相手に望む条件ランキング」に記入する。)
→グループで作成したランキングと「資料2 結婚相手の条件」とを照らし合わせて、大人が考える条件とのギャップについて確認する。
大人においては、「性格・パーソナリティ」や「価値観・相性」等の本質(内面)の要素が重視され、「学歴」「持ち家」「財産・貯蓄額」等の要素は重視されていないことを理解する。
- グループごとに話し合いの中で出た意見や気づいた点について代表者が発表します。
→「話の素材」の男性の発言は、猫の本質(内面)に基づいていないことに気づく。
- ファシリテーターが「資料3 (人の直うち)」を朗読し、グループの発表や学習のポイントを織り交ぜながら、感想を言って終わります。

おすすめ方
 大まかな「学習のすすめ方」を記述しています。研修の時間や参加人数、会場などに応じて、それぞれ工夫して細かな「すすめ方」を考えていただくときの参考としてください。

「話の素材」を使った話し合いの前に、アイスブレイキングの時間を設けて、参加者の心をしっかりほぐしましょう。

話し合いの意図を記述しているところもあります。

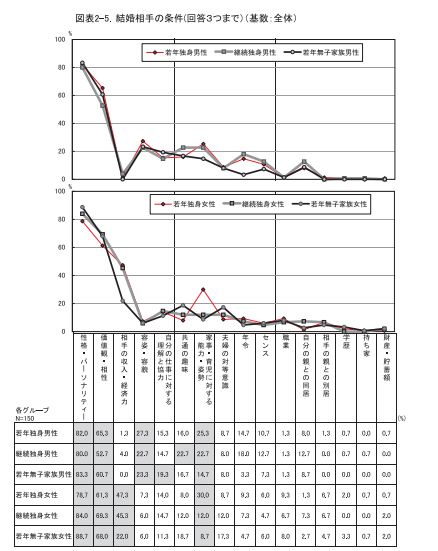
資料

教材として参加者に配布したり、ファシリテーター(学習促進者)が参考資料として活用したりするためのものです。学習を深めたいときや時間に余裕があるときなどに、追加資料としても活用できます。

学習プログラムによっては、別版の「話の素材」を載せているものもあります。学習者の実態に応じて活用してください。

資料2 結婚相手の条件 (『少子化に関する意識調査研究報告書(H16.3厚生労働省)』より)

- 若年独身男性 …… 20歳～32歳 独身
- 継続独身男性 …… 33歳～49歳 独身
- 若年無子家族男性 …… 20歳～49歳 既婚 子ども無し 妻が20歳～31歳
- 若年独身女性 …… 20歳～30歳 独身
- 継続独身女性 …… 31歳～49歳 独身
- 若年無子家族女性 …… 20歳～31歳 既婚 子ども無し 夫の年齢不問



資料

資料1 子どもの結婚相手に望む条件ランキング

1 あなたのお子さんが結婚するとした場合、結婚相手に望む条件として大切だと思うものを次の中から1位から5位までランキングしていきましょう。

記号	条件	ランキング
A	性格・パーソナリティ	
B	結婚相手・子どもの相性	
C	収入・経済力	
D	容姿・容貌	
E	子どもの仕事に対する理解と協力	
F	二人の共通の趣味	
G	家事・育児に対する能力・姿勢	
H	二人の対等意識	
I	年齢	
J	センス	
K	職業	
L	自分たち親との同居	
M	相手(女)の親との別居	
N	学歴	
O	持ち家	
P	財産・貯蓄額	

2 グループで話し合ってベスト3を決めましょう。

1位 2位 3位

1位に選んだ理由は

資料の中に、ワークシートを載せているものもあります。そのまま活用することもできます。

2 学習の場づくりと学習のルール

① 学習の場づくり

- 「参加型」学習を行うためには、安心して学習できる雰囲気大切です。椅子や机の並べ方など参加者数や会場の広さ、人権学習プログラムの内容などに合わせて学習の場を工夫しましょう。
- 初めて「参加型」学習を受講される方もありますので、事前に、今日の学習は「参加型」学習であり、「みんなで一緒に考えていく」ことを伝えておくことも大切です。

② 話し合いのルール

- 「参加型」学習では、お互いに気持ちよく学ぶことができるよう、ファシリテーターは、学習の初めに「学習のルール」を参加者と一緒に確認しておきましょう。以下に「話し合いのルール」の例を3つ載せていますので参考にしてください。

話し合いのルール（例）

<①参加>

今日の学習は「参加型」学習です。皆さんに積極的に参加していただきたいと思います。

ただ、言いたくないことは「パス」と言って断ることができます。

<②尊重>

今日の学習では、グループで様々な話し合いを行いますが、意見に「正解」はありません。皆さんが、自分の考えを出し合ってください。そして、様々な意見が出てくるとは思いますが、相手の意見を否定することなく、お互いの考えを尊重しましょう。

<③守秘>

今日の学習の場で出たことは、学習を深めるために出された意見ですので、発言者の了解なしに外に持ち出さないようにしましょう。



3 アイスブレーキングで心ほぐしをしましょう

アイスブレーキングとは

普段顔見知りの方同士であっても、「参加型」学習となると、「どんなことをするのだろう」と、学習に入る前から緊張する方があると思います。そこで、学習者が安心して学習に取り組めるように心ほぐしを行おうというのが「アイスブレーキング」です。

- この「人権学習プログラム集」では、「話の素材」とその「すすめ方」の例を取り上げていますが、学習を始める前に、学習者が安心して積極的に学習に関わることができるよう、アイスブレーキングで心ほぐしをしましょう。
- アイスブレーキングの例をいくつか挙げていますが、学習内容に合わせて、「ねらい」や「気づき」につながるよう工夫して行うようにしましょう。
- アイスブレーキングを活用して、学習グループ（4～5人が適当）をつくることもできます。

アイスブレーキングの例

番号	アイスブレーキング	すすめ方
1	ジャンケン列車	<ol style="list-style-type: none"> 1 近くの人とジャンケンをし、負けた人(列)は、勝った人(列)の最後尾に並び、前の人の肩又は腰につかまり一列をつくる。 2 最後の一列になるまでジャンケンを続ける。 3 最後の一列の先頭の方が勝ち。(一列になった参加者を順に4人ずつのグループに分ける)
2	バースデーライン	<ol style="list-style-type: none"> 1 言葉と文字を使わないで、1月1日から誕生日順に並んで輪をつくる。(4月1日からなど指定してもよい) 2 全員が並び終えたところで、前後の人と誕生日を確認し合い、間違っていた人は順序をかわる。(全員が輪になったところで、4人ずつのグループに分ける)
3	後だしジャンケン	<ol style="list-style-type: none"> 1 ファシリテーターと参加者でジャンケンをする。 2 参加者に「勝つ」の条件を出し、ファシリテーターのジャンケンポンの後、指示された条件になるよう後出しジャンケンを行う。 3 間違った人には座ってもらうなどして、最後まで(適当な時期に)残った人が勝ち。 4 条件を「あいこ」「負ける」に変更して、後だしジャンケンを繰り返す。
4	このごろシート	<ol style="list-style-type: none"> 1 このごろシートを用意し、各自記入する。(シートなしでもよい) 「このごろの元気度」「このごろおいしかったもの」「このごろ気になるニュース」「うちの子自慢」(最後の一つは学習に関わる内容に)など。 2 近くの人と2人組になり、シートをもとに自己紹介を行う。 3 さらに、4人組とし、同様に自己紹介を行う。(自己紹介をした4人グループで学習する)
5	同じ色の人集まれ	<ol style="list-style-type: none"> 1 色の違うシールを4人組のグループ数分用意する。 2 ファシリテーター(又は係員)は参加者の背中(見えないところに)にシールをはる。 3 互いに話をしないで、身振りなどで同じ色のグループに分かれる。 4 時間がきたら、互いに色の確認をする。(シールの色で4人グループに分かれる)

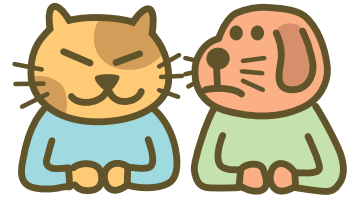


4 人権学習プログラム

- (1) それってホント？
- (2) おしゃべりカード
- (3) 一人一人が輝く素敵な学校を一緒につくりませんか？
- (4) あいさつで人権尊重のまちづくり？！
- (5) 4つのゾーン
- (6) 心が動くひとつの言葉
- (7) こまったわね。
- (8) 「こんなメールが…」こんなときどうする？？
- (9) 猫の世界
- (10) ホップ・ステップ・ジャンプ！
- (11) こどもの世界と権利
- (12) さあ、どうする？
- (13) あなたのお悩み解決します



話の素材 (学習資料)



イヌ：やあネコさん、お久しぶり。

ネコ：(少し元気がない様子)

イヌ：ネコさん、なんか元気がないみたいだけど、どうしたの？

ネコ：イヌさんはいいよね～。三日飼ったら主人のことを忘れないほど恩深くて、芸も覚えて賢いってみんなから言われてるもんね。それに比べてネコなんか、気まぐれで飼い主のことを裏切るとか、見かけは穏やかでも内心は違うと思われたり、あげくのはては死んだらばけて出るなんて思われたりして、いいことなんて全然ないもんね。

イヌ：確かにそんなことを言われることもあるけど、全部のイヌがそうだとは思わないよ。それよりネコさんは、高い所から落ちてても足から落ちてけがをしないんですよ。

ネコ：そんなふうに使われているところもあるみたいだけど、でもそれで高い所から落とされてひどい目に遭った友だちもいるんだよ。

イヌ：イヌだ、ネコだということで、みんな一緒に見られてしまっているところがあるよね。

ネコ：ほんと、ほんと。全く迷惑な話だよ。みんな一緒に見るんじゃなくて、もっと、一匹一匹のことをちゃんと見てほしいよね。

イヌ：同感だね。ところで、ネコさんの血液型は何型？

ネコ：そんなこと、見たら分かるでしょ。

イヌ：どれどれ。分かった、B型でしょ。

ネコ：ちがう、ちがう。真面目で、慎重に行動するA型よ。

イヌ：え～。ネコさんがA型？マイペースで計画性がないB型かと思ったよ。

ネコ：そりゃあひどいね～。そういうイヌさんは何型？

イヌ：見たら分かるでしょ。

ネコ：う～ん。分かった、O型でしょ。

イヌ：ちがう、ちがう。器用で、多趣味なAB型よ。

ネコ：うそー。細かいことを気にせず、負けず嫌いなイヌさんは、てっきりO型かと思ったよ。

イヌ：なんか笑っちゃうよね。やれA型だの、B型だのと血液型でみんな同じ性格みたいに見られるところがあるけど、他にもそんなことってあるのかなあ。

イヌ、ネコ：どうですか？みなさんには、私たちと同じような経験はありませんか？





学習のポイント

一人一人の個性が尊重される社会をつくっていくことが、誰もが幸せに暮らせることにつながります。メディアやインターネットの普及により、たくさんの情報があふれています。私たちは、あらゆる物の情報を五感で感じ取って脳に取り込み、それを過去の記憶や体験を通じて勝手に自分に都合よく、概念化・観念化していきます。このような中で、情報や人を通して得た話、うわさを鵜呑みにし、偏った見方をしていることはないでしょうか。「無知は偏見を生み、偏見は差別を生む」とも言われています。**先入観や思い込みによって、人をひとくりに判断するのではなく、その「人」自身を理解し、認め合うことの大切さを感じてほしいと思います。**ここでは、イヌとネコの会話を通して、**参加者が持っている固定観念に気づき、固定観念による人権の侵害や、どうして固定的な見方をするようになったのかを考えます。**また、固定観念→偏見→差別という意識から行動化へ向かう心の仕組みについて理解します。



すすめ方 【90分】

準備物 模造紙(グループ1枚)、マジック

1. 4～6人のグループをつくります。
2. 「話の素材」を配り読みます。(イヌ、ネコ役各1人)
※話の素材は、**資料2**を代用してもかまいません。
3. 「固定的な見方」や「決めつけ」をキーワードに、自分のエピソードを思い出し、グループで話し合います。(悲しい思いをしたり、させたりしたこと)
※なかなか思い出せない人のために **資料1**を準備します。(掲示)

「あの人は・・・だから」とか、「・・・はきっとあのんだ」とか「固定的な見方」や「決めつけ」で判断してしまったり、判断されたことはないか思い出してみましょう。

4. 「固定的な見方」や「決めつけ」がどうしてよくないのか話し合ってみましょう。また、なぜ「～だ」と決め付けて、信用してしまうのかについても話し合ってみましょう。
5. 「固定的な見方」や「決めつけ」により、悲しい思いやいやな思いをしないために家庭やPTAでできることを話し合ってみましょう。
6. グループで話し合ったことを発表して聴きあいましょう。
※ **資料3**をまとめとして使うこともできます。
7. まとめとして、ファシリテーターが固定概念(ステレオタイプ)から偏見、差別につながる過程を説明して理解してもらいましょう。
「A型は几帳面だ」→「A型は神経質で気難しい」→「A型の採用はやめよう」



資料

資料1 自分のエピソードを思い出すヒントになるもの

こんなことで、決め付けた見方をしていることはありませんか？

- 血液型で
- 出身県で
- 職業で
- 性別で
- 生年月日で
- 外国人で
- 子どもで
- 高齢者で
- 兄弟姉妹で
- 都会と田舎で
- 外見で
- 服装や持ち物で
- 親の職業や財産で

資料2 話の素材として代わりに使えるもの

- ① 高校を中退して工場で働いている青年の話
- ② 大卒、銀行勤務の青年と高校中退してフリーターをしている青年の話
- ③ エレキギターを想买い高校生の話
- ④ ブランドジーンズを大切にしている高校生の話

※「話の素材」は別途掲載

資料3 偏見と差別をなくすために

決め付けの例

- 「〇〇県民は……だ」
- 「最近の〇〇は……だ」
- 「女のくせに……」
- 「男のくせに……」

決め付けを見抜く

- マイナスイメージで一面的に見るのは間違い
- 「あの人は△△にちがいない」
- 「みんな〇〇だ」と決め付けない



資料2-① 高校を中退して工場で働いている青年の話



話の素材 (学習資料)



資料2-② 大卒、銀行勤務の青年と高校中退してフリーターをしている青年の話



話の素材 (学習資料)



〇〇さんのおぼっちゃん
今年、大学卒業して
銀行に就職したんですって♡♡

まあステキ!!
将来たのしみだこと♡

最終学歴:〇〇大学経済学部卒
職 業:□□銀行△△支店勤務
趣 味:軽音楽、読書



それに比べてうちの子は!
高校中退してから
ずっとぶらぶらして…
こんなことじゃ、ろくな
人間になれないわ!

最終学歴:〇〇高校中退
職 業:フリーター
趣 味:プラモデルづくり



資料2-③ エレキギターを想买いたい高校生の話



話の素材 (学習資料)



資料2-④ ブランドジーンズを大切にしている高校生の話



話の素材 (学習資料)



2 おしゃべりカード

～その時あなたは、どうする？どう思う？～

話の素材(学習資料)

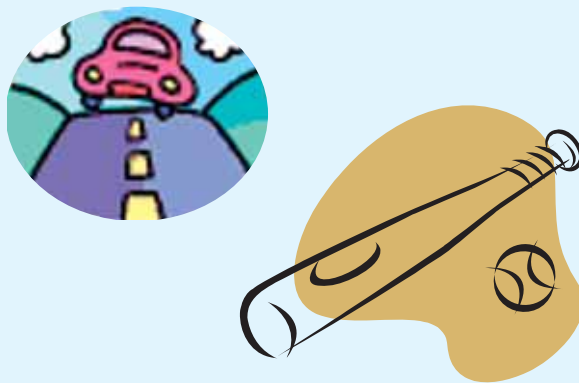
どうする？ その1

あなたのお子さんが、ピアスをしたいと相談してきました。
あなたは、どうする？どう思う？



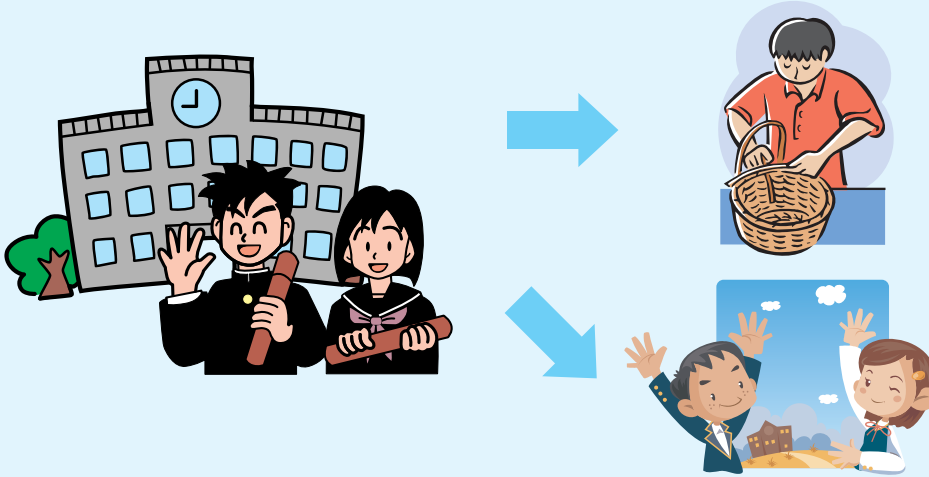
どうする？ その2

あなたのお子さんが、スポーツ少年団に入りたいと言っています。スポーツ少年団に入るには保護者の送り迎えが必要ですが、あなたは仕事で送り迎えができません。そんなときあなたならどうする？どう思う？



どうする？ その3

あなたの子どもが、中学を卒業したら職人の道をめざすために高校は行かないと言っています。あなたは、どうする？どう思う？



どうする？ その4

高校の入学祝いに携帯電話を買いました。本人に責任を持たせるためにも、フィルター設定をせずに契約しました。しかし子どもが心配となり、携帯電話を見てしまいました。あなたは、どうする？どう思う？



フィルター設定

フィルター設定とは、携帯電話やパソコンから一定のサイトにアクセスできなくさせることで、携帯電話契約時などに行うこともできる。(フィルタリングサービス、又は、「有害サイトアクセス制限サービス」と呼ばれる。) 未成年や18歳未満の子どもが危険なサイトにアクセスしないよう遮断することが主な目的である。



学習のポイント

私たちが日常生活でごく当たり前のこと、常識と思っているなかにも様々な人権問題が潜んでいます。これらの出来事のなかには偏見や差別につながると思われる事柄が存在していることもあります。それら話し合うことでその背景である**人権問題が起こる原因に気づき**、解決の糸口を得て行動へとつなげていくことをねらいとしています。ここで学んだことはその場だけにとどめるのではなく、暮らしに活かしていくことが大切です。大人の会話は、子どもの人権感覚を育てる上で大きな影響を及ぼすこともあります。

それぞれのカードの事例をもとに話し合うことで、無関心となっていないか、知らないまま見過ごしていないか、また**親だからといって子どもの人権を無視していないか、人権に関わる対応が必要な場合、親としてどう対応すべきか**考えてみましょう。



すすめ方【90分】

準備物 話の素材をカードにしたもの

1. 4～6人のグループをつくります。
2. ねらいと進め方を説明します。
 - プラスαで自己紹介（お題は「このごろおいしかったもの」）
3. 「話の素材」おしゃべりカードをグループに配ります。
4. カードを裏返してバラバラに机の中央に並べます。
5. グループで話し合いをします。
 - (1) ジャンケンで最初の司会者と記録者を決め最初のカードを選び話し合います。
（例えば…勝った人が最初の司会・負けた人が最初の記録）
 - (2) その後、2回目のカードを選び話し合います。もう一度ジャンケンをして司会者・記録者を決めます。

時間によっては2枚程度で話し合ってもいいよ。資料3の素材でもOK



話し合いのポイント

- ① カードに書かれてある事柄について自分はどう思うか意見を出し合います。記録者は、出された意見をメモしておきます。
 - ② 2回目のカードを話し終わったら全部のカードをひらいてみます。誰のどんな人権が侵害されているでしょうか？また人権問題が起こる原因はどんなことだと思いますか？
6. 話し合ったカードをもう一度裏返して1枚だけ選びます。そのカードについて出された意見を記録した人が発表します。
 7. 最後にファシリテーターが出てきた意見や学習のポイントなどをおりませながら、感想を言って終わります。



資料

資料1 グループでの話し合いについて

大切にしてほしいことは、賛成でも反対でもまずは相手の話を聞いてみることです。皆さんの考えを大切にしながら話し合っていきましょう。

- ①賛成の方（手をあげてもらおう） 反対の方（手をあげてもらおう）
- ②どうして賛成ですか？ 賛成の理由を聞いてみる
- ③どうして反対ですか？ 反対の理由を聞いてみる

…もし話がでてこなかったときの参考までに・・・これが答えではありません。

どうする？ その1

● 賛成の方の考えの例

- ①ピアスするかどうかは個人の自由で、自由を尊重したい。
- ②ピアスはおしゃれだからいいのではないか。
- ③ピアスがあることでへんな目で見るのはその見方がおかしい。

● 反対の方の考えの例

- ①体を傷つける必要はない。
- ②世の中にピアスをするのを肯定的に捉えていない（偏見がある）人がいる。

どうする？ その3

● 賛成の方の考えの例

- ①子どもが早くから夢をもつことはいいのではないか。
- ②親の人生ではない、子どもの人生は子どもの自由に生きていくことができる。

● 反対の方の考えの例

- ①途中で諦めたときに子どもが困る。
- ②学歴がないために、給料や昇進に影響がある。仕事がなくなったときに子どもが不幸になるのではないか。

どうする？ その2

● 賛成の方の考えの例

- ①子どものやる気を大切にするいい機会なので、どうにか実現すべき。
- ②保護者同士の連携で送り迎えもできるのではないか。

● 反対の方の考えの例

- ①家庭の状況があるから仕方ない。
- ②いずれできるときがくるので、我慢も必要。

どうする？ その4

● 賛成の方の考えの例

- ①子どものことを知りたいし心配だから見てもよい。
- ②事件などに巻き込まれないか、子どもの命を守るためだからよい。

● 反対の方の考えの例

- ①子どものことを信じていない。
- ②人権侵害につながる。子どものプライバシーが守られていない。





資料2 子どもの権利条約について (参考)

子どもの権利条約のあらまし

我が国が平成6(1994)年に批准した児童の権利に関する条約(子ども権利条約)では、子どもにかかわる全てのことは、子どもにとってもっともよいことは何かを考えて行われなければならないと定められています。

また、子どもの持つ権利が約40条あげられていますが、それらは以下の4つに大きく分けられます。

生きる権利

- 防ぐことのできる病気などで命を奪われないこと。
- 病気やけがをしたら治療を受けられること。



など。

育つ権利

- 教育を受け、休んだり遊んだりできること。
- 考えや信じることの自由が守られ、自分らしく育つことができること。



など。

子どもの権利

守られる権利

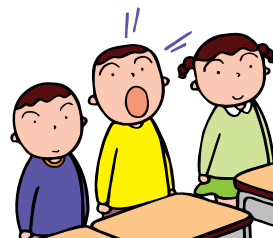
- あらゆる種類の虐待や子どもの幸せを奪って利益を得るようなことから守られること。
- 障がいのある子どもや少数民族の子どもなどは特別に守られること。



など。

参加する権利

- 自由に意見を表したりすることができ、子どもの発達に応じてその意見が考慮されること。
- 集まってグループを作ったり自由な活動をしたりできること。

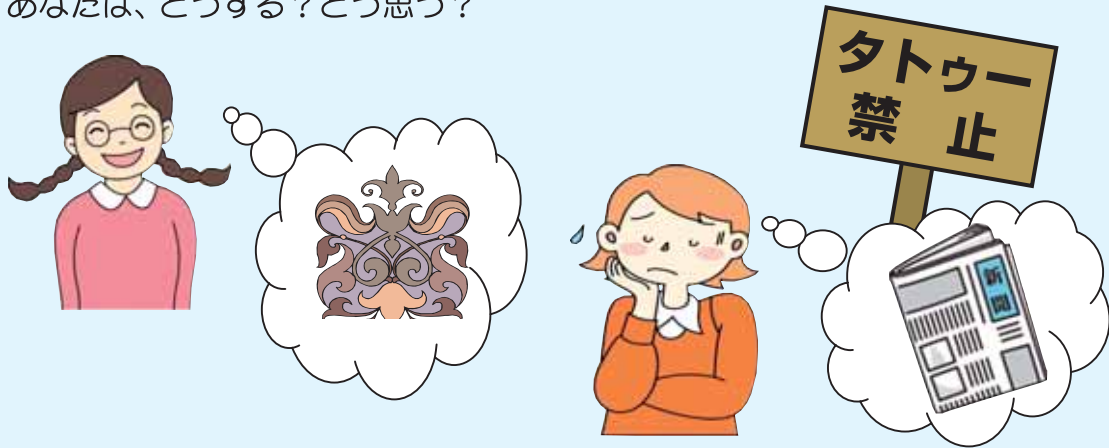


など。

資料3 話の素材 (学習資料)

どうする? その5

あなたのお子さんが、タトゥーを入れたいと相談してきました。
あなたは、どうする? どう思う?



どうする? その6

あなたのお子さんの友だちがゲームをするために家に来ています。
あまりにも遅い時間までいるのですが、あなたは、どうする? どう思う?



3 一人ひとりが輝く素敵な学校を一緒に作りませんか？

話の素材 (学習資料)

素敵な学校であるためには、
どれが大事？

施設・設備

冷暖房完備で、近代的な設備・環境が整った学校

体験・行事

子どもの体験を重視した行事を盛り上げる学校

地域に開く

地域の人材活用など、地域との交流が盛んで、地域の願いや要望がかなえられる学校



授業

わかりやすく、楽しい授業の提供、学力をつける授業を行う学校

規律

規律や規則が守られ、善悪の区別ができる子どもを育てる学校

部活動・ 課外活動

部活動などに積極的に取り組む学校

感性・ 思いやり

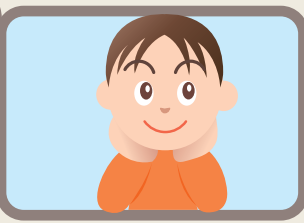
感性豊かな子ども、思いやりにあふれた学校

人間関係

先生や子ども同士の人間関係に配慮した学校

安心・安全

安全が守られ、安心して生活できる学校



自己実現

一人一人の良さが認められ、のびのびと生活できる学校



学習のポイント

安心、安全に暮らせる、自己実現ができる社会の条件として、一人一人の人権が尊重されていることは、必要不可欠なことです。そして、**学校は、人権が尊重されている場所であることで、子どもたちは健やかに育っていきます。**

人権が尊重され、子どもたちが楽しく、自分らしく生活できる素敵な学校であるために必要なことは何でしょうか。子どもたちのために、先生も保護者も熱意を持って取り組める学校であるために必要なことは何でしょうか。**話し合いをする中で出てくるいろいろな意見に耳を傾け、自分の考えを話しながら、素敵な学校であるために大切なことを探してください。**そして、学校がそうあるために、一人で、グループで、また、PTA全体でできそうなことを見つけ、試してみませんか？



すすめ方【90分】

準備物 **資料1** 人権のかけ橋のワークシート (A3サイズでグループに1枚)

1. 4人程度のグループをつくります。
2. ねらい、進め方を説明します。
3. 「話の素材」をもとに、個人でランキングをします。(大事だと思うことから順番に番号を記入する。)
4. 個人の考えを持ち寄って、グループとしてのランキングをつくります。(1番にランクされたことを **資料1** 人権のかけ橋のワークシートの中央に記入する)
5. 一人一人が輝く素敵な学校をつくるために必要なことをグループで考えます。(ブレインストーミング…付箋等を使う。)
6. 出てきた意見を関連するものでまとめ(KJ法…このとき、**資料1** 人権のかけ橋のワークシートの裏を使い、まとめていく)、PTAですること、学校ですること、家庭・地域ですることに分けます。
7. ワークシートのそれぞれの部分に、実際に行動してみようと思うことを記入します。
8. グループでまとめたことや感想を発表し、共有します。

自己実現 自分らしく生きることができるといこと。自己実現ができる社会とは、自分の思うように(わがままではない)生きる上で、壁となるものがない社会のこと。

ブレインストーミング法 自由な発想で討論し、創造的に問題解決をめざす手法。アイデアを話し合ったり、様々な考え方ができる事柄についてありうる意見をできるだけたくさん出し合ったりします。その際、「他者の意見について正誤の判断をしない」「自由奔放な型破りなアイデアを奨励する」「どんな意見でも多数出す」「他人のアイデアを活用したり、組み合わせたりする」ことを原則として進めます。

KJ法 たくさんの意見をグループ化し、まとめたものに見出しをつけるなど論理的に整理し、問題解決の道筋を明らかにする手法。たくさんの意見を整理、分析するときに使われます。



資料

資料1 人権のかけ橋のワークシート



4 ▶ あいさつで人権尊重のまちづくり?!



話の素材 (学習資料)

①

あいさつ運動
〇〇地区
〇〇学校PTA

②

ただいま。
おじちゃん。
劇や合唱、観に来てくれたの。ありがとう。

③

ただいま。...

チリ〜ン
チリ〜ン

④

あいさつ運動に協力しようと思っただけなのになあ...





学習のポイント

人権尊重の社会づくりをすすめるうえで、地域において豊かな人間関係を構築することは大変重要です。特に、自分も相手も大切にできるコミュニケーションである「あいさつ（運動）」は、人権尊重の社会づくりの第一歩として、多くの地域で、学校・PTA・市町村・関係団体等が連携して取り組んでいます。

しかし、最近では「不審者の問題」など保護者が不安を抱く事件が起こっています。また、「いじめ」「児童虐待」など、子ども同士、親子関係に関わる問題も起こっています。さらに、子ども自身の「自己肯定感」の低さも指摘されています。あなたのまちではどうでしょうか。

地域で取り組まれている「あいさつ」を素材として、皆さんが「あいさつ」に期待していることを話し合ってみてください。①**子どもの安心安全を守ること**、②**親子や地域の方とのより良い人間関係を築くこと**、③**子ども自身が自分は大切にされていてかけがえのない存在であると感じること**など保護者の願いを明らかにし、その実現のために現在の取組の現状を振り返り課題を出し合うことで、PTAとして何ができるか話し合ってみましょう。

この学習を通して、お互いが大切にされていると感じられる人権感覚に満ちあふれたまちづくりが一層推進されることを期待しています。



すすめ方【90分】

1. 4人程度でグループをつくります。
2. 「話の素材」を読んで、感想を話し合しましょう。
→②及び③の場面において、子どもの対応が違ったのはどうしてか、自分自身のエピソード等を織り交ぜながら話し合うのもいいでしょう。
* 「話の素材」を **資料3** に変更して話し合いをすることもできます。
3. みなさんが「あいさつ」「声かけ」に期待していることを話し合い発表しましょう。
→発表された内容を人間関係、安心安全、自己肯定感、自尊感情といった「人権」のキーワードをもとにまとめることで「あいさつ」に期待するものと「人権」との関わりを参加者に捉えやすくするといいいでしょう。
* **資料1** **資料2** を使って話し合うこともできます。
4. PTA活動又は地域で取り組んでいる「あいさつ運動」について、問題点や改善点を出し合い、地域やPTAでできることを話し合しましょう。
→すすめ方3のキーワードを意識しながら、問題点や改善点を話し合い、PTAや家庭でできることを話し合しましょう。
5. グループごとに話し合いで出た意見や気づいたことについて代表者が発表します。
6. ファシリテーターが、グループ発表や「学習のポイント」をもとに、感想を言って終わります。

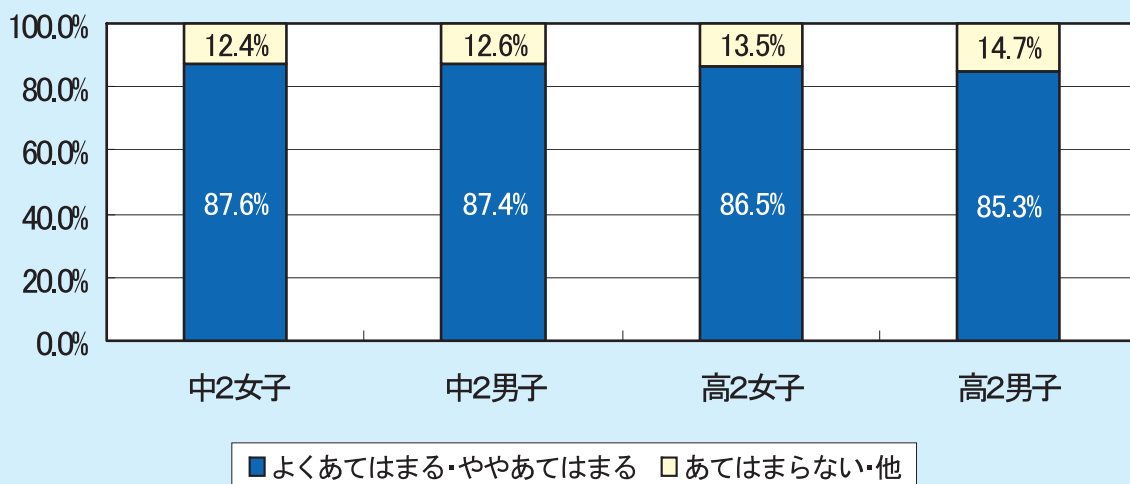


資料

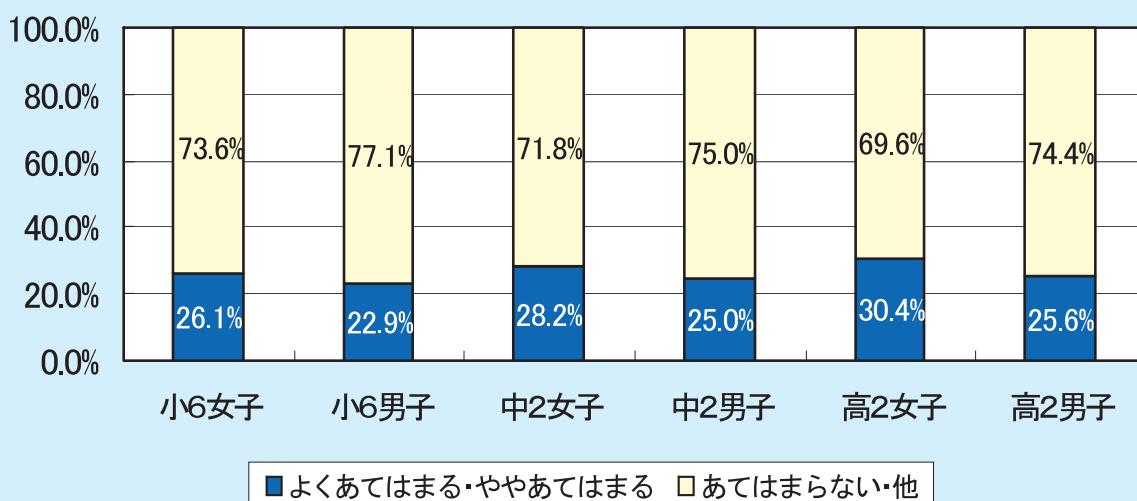
資料1 子どもの自己肯定感に関わる意識について

平成14年度 文部科学省「児童生徒の心の健康と生活習慣に関する意識調査」より

私は自分に価値がないか他人より劣っていると思う



私なんかいないほうがいいと思う



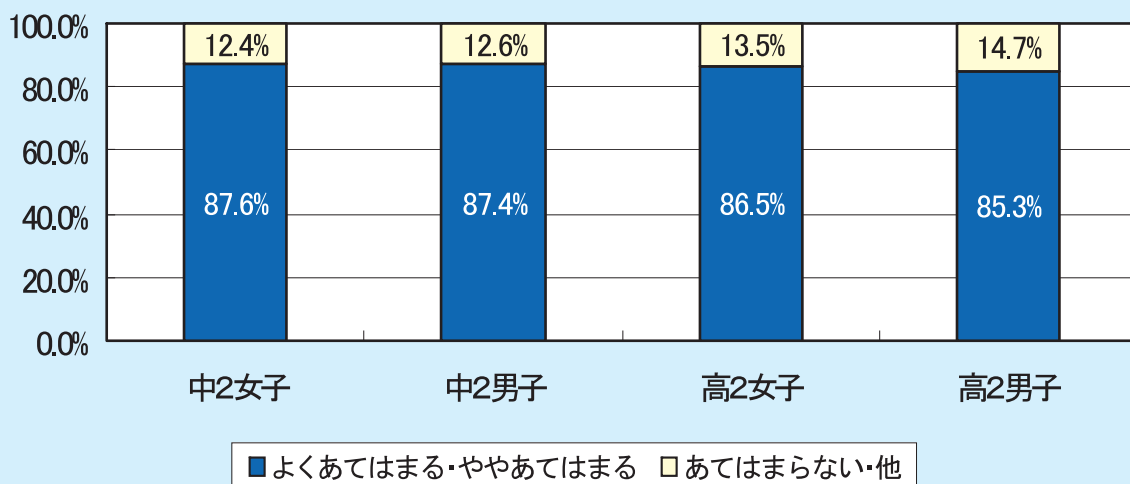


資料

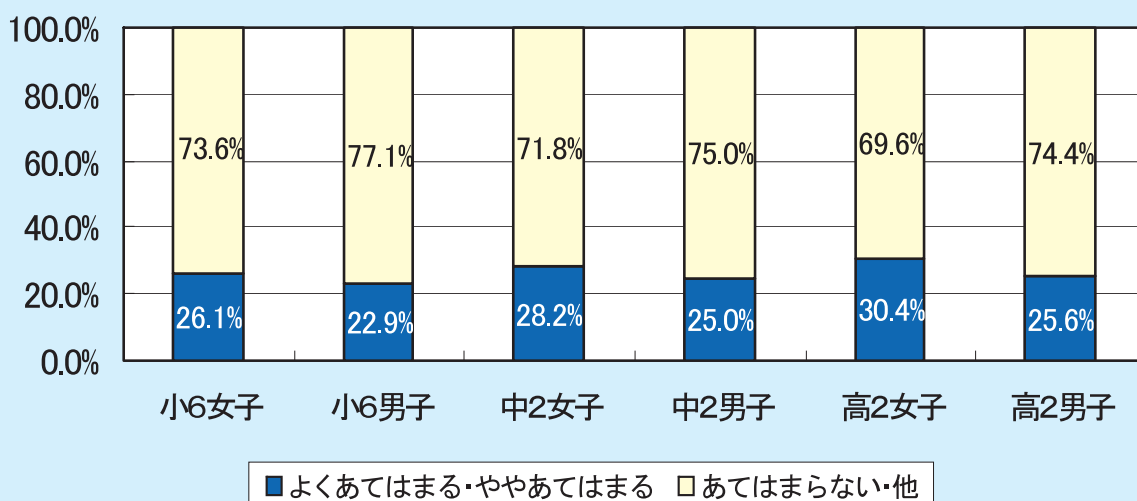
資料1 子どもの自己肯定感に関わる意識について

平成14年度 文部科学省「児童生徒の心の健康と生活習慣に関する意識調査」より

私は自分に価値がないか他人より劣っていると思う

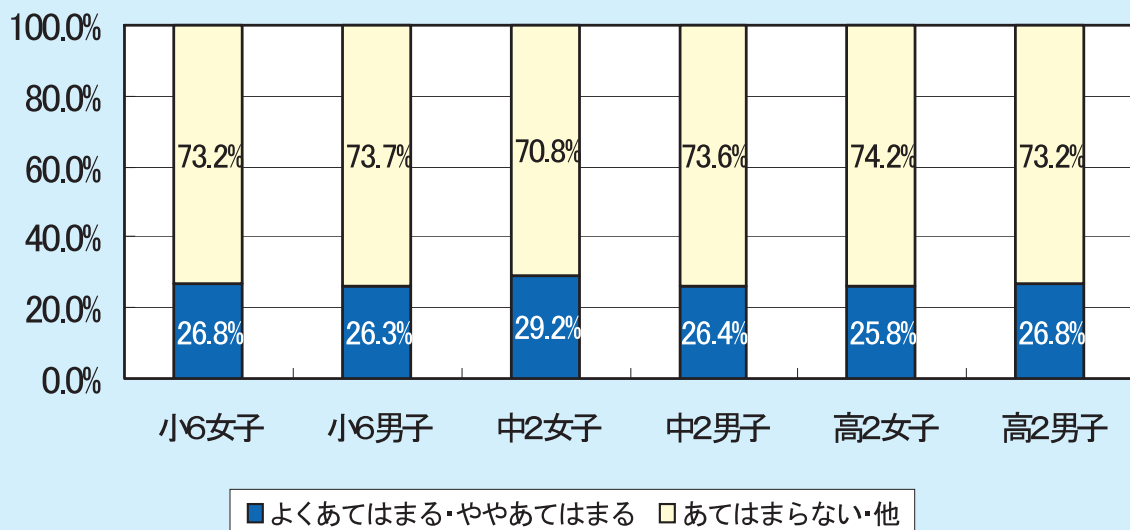


私なんかいないほうがいいと思う

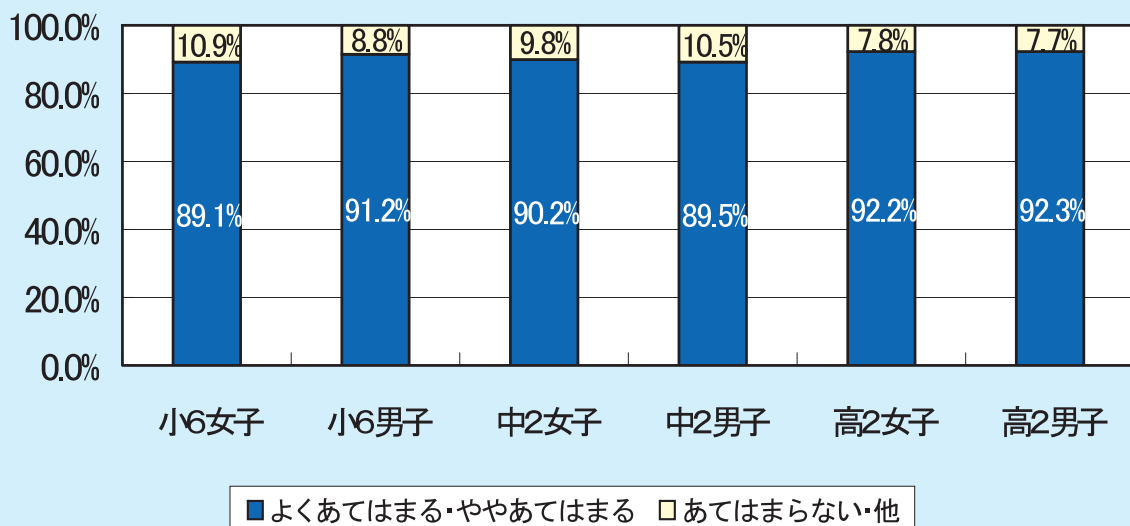




誰も私を大切にしてくれないと思う



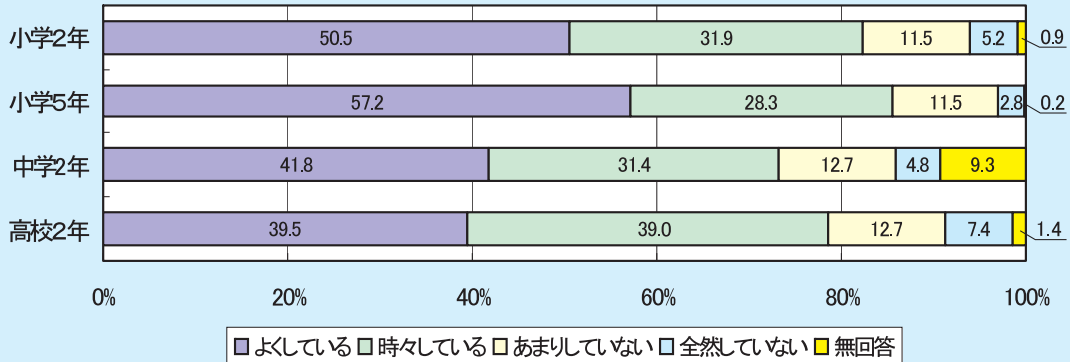
「やればできる」と思う



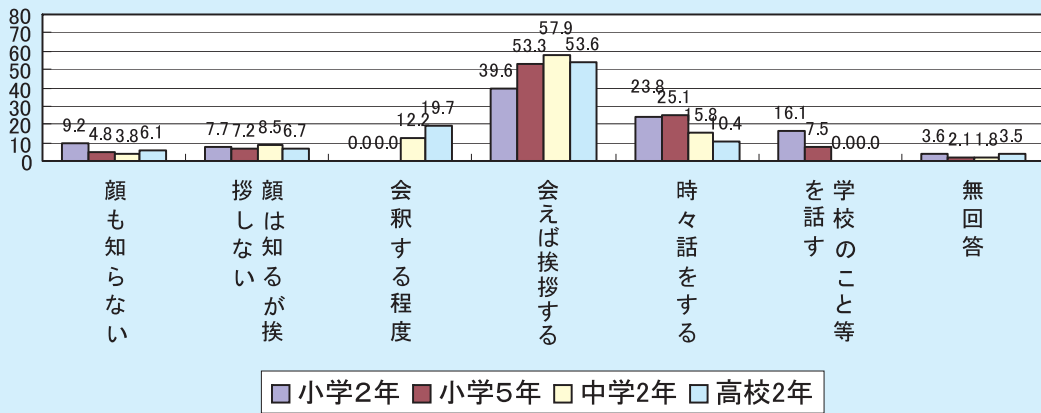
資料2 地域でのあいさつ・連帯感等に関する意識調査

平成17年度鳥取県青少年育成意識調査結果報告書「青少年のこころと姿」より

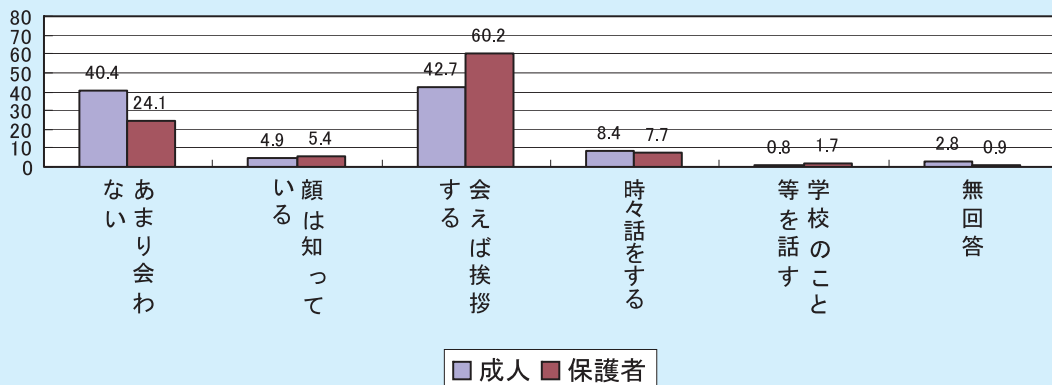
どの程度していますか「近所の人や知った人に挨拶する」



近所の大人とどの程度親しいですか



あなたは近所の中学生・高校生とどんなつきあいをしていますか





資料3 話の素材 (学習資料)

ただいま。おじちゃん。
劇や合唱、観に来てく
れたの。
ありがとう。



〇〇ちゃん、おかえり。
先週の学習発表会、
がんばってたね。

Aまちの取組

私たちのまちでは、地域をあげて「あいさつ運動」に取り組んでいます。当番の日だけでなく、誰もが普段から気軽に子どもたちに「声かけ」をします。中学生や高校生にも進んで声をかけます。

あいさつ運動実施中
〇〇地区
〇〇学校PTA



不審者に間違われる心
配もなく、お互いに安
心だ。



Bまちの取組

私たちのまちでは、子どもを狙った犯罪が各地で発生していることから、おやみに子どもへの「声かけ」をしないことにしています。特に、子どもだけのときに「声かけ」をしてはいけません。また、子どもが不安がっているのを見たときには、通報することになっています。

5 ▶ 4つのゾーン



話の素材 (学習資料)

会場を4つのゾーンに分けます (表記してあるカードを置きます。)

はい	どちらかといえば、はい
いいえ	どちらかといえば、いいえ

質問例 親子の場合

- A 学校は好きです (好きでした)。
- B 勉強は好きです (好きでした)。
- C 友達と遊ぶのは好きです。
- D スポーツは好きです。
- E 読書は好きです。
- F けんかをした後すぐ仲直りができます。
- G 子どもの話 (家の人の話) をしっかりと聞いています。





学習のポイント

近年、親子のコミュニケーションが少ないと危惧されています。子どもたちは、自分の気持ちや考えをうまく表現できなかつたり、感情がコントロールできなかつたりする場合があります。この学習を通して、**子どもの気持ちを受け止めて親子のコミュニケーションを深めたり、自分の意見や考えを伝え、相手のそれらをしっかりと聴くことの大切さ**について考えたりしてみましょう。



すすめ方【60分】

準備物 ゾーン表示

1. 質問者は中央に立ち、子ども、保護者も中央に集まり、質問を聞きます。
2. 自分で答えを考えてゾーンに移動します。このときに、周りの人の動きに左右される場合があるので、自分がどう思うかよく考え、自分の判断で動きましょう。
3. 数人にそのゾーンに行った理由などを聞き、全体で意見交換します。
(各ゾーンに集まった人々で意見をまとめ、全体に発表してもよいでしょう。)

〈問いかけの例〉

【A～Eの質問】※この中から数個に絞って行ってもいいでしょう。

- ・なぜそれが好き/嫌いなのですか(だったのですか)?
- ・それをするとどのような良いことがありますか?
- ・楽しんでそれをするには、どのような方法があると思いますか?
- ・それをするために、家の人や学校に手伝ってほしいことがありますか?

【Fの質問】

- ・仲直りは難しいですか? 簡単ですか? その理由は?
- ・仲直りをするための良い方法はありますか?
- ・「けんか」は悪いことですか? それはなぜですか?
※意見の違いや対立自体は悪いことではないが、不必要に相手を傷つけるようなことをしたり言ったりするのは避けたいし、絶交するのはもったいないことを確認する。
- ・けんかをしないため(あるいは前述のような悪いタイプのけんかをしないため)には、どのようにすればよいでしょうか?

【Gの質問】

- ・どんなときにどんな話をしていますか?
- ・なかなかじっくりと話ができないのはなぜでしょう?
- ・お互いにじっくりと話をすると、どのような良いことがあると思いますか?
- ・今よりも(もっと)話ができるようにするには、どうすればよいと思いますか?

4. 次の質問をその場で聞き、またそれぞれのゾーンに移動します。
5. 3、4を何度か繰り返します。
6. 学習をして気がついたことや感想を出し合ひましょう。

6 心が動くひとつの言葉



話の素材 (学習資料)

場面1



ユキを立ち直らせるには
どうしたらいいんだろう？



うざい。掃除だ勉強だと
うるせえんだよ。



ユキ、何度言ったら分かるんだ。
ちゃんと掃除しなきゃだめだろう！



うるせえ！
何でかまうんだよっ！



卒業できたのは先生のお
かげだよ。あのときの
先生の言葉、忘れられないよ。



補足説明

中学校2年生のユキは、授業をなまけ、掃除もせず、注意されると反抗した。
ある日掃除をさぼったユキに対し、先生が厳しく注意した。しかし、ユキは先生に激しく反抗した。
「何でかまうのか」と反抗するユキに、先生がある言葉をかけた。

問い

先生に反抗していたユキが、その後先生に感謝するようになりました。どんな言葉がユキの心を変えたいと思いますか。皆さんが考えてみてください。

場面2

中学生のサチコが万引きをした。普通なら保護者が警察に引き取りに行くのだが、サチコには父親しかいない。しかも、その父親は居酒屋をやっていて、準備の時間で引き取りに行けないというので、担任が、サチコを引き取りに行き、家まで送り届けた。非常に厳しい父親なので、担任は、サチコは絶対に父親に殴られるだろうと思いつつ居酒屋の扉を開けた。

問い

父親の言葉を聞いた担任は、サチコはもう二度と万引きをすることはないだろうなと思ったそうですが、どんな言葉をかけたと思いますか。皆さんが考えてみてください。



学習のポイント

自分の思いや考えを相手に配慮しながらはっきりと伝えたり、相手の伝えたい思いや考えを分かろうと共感的に聞き取ったりすることで、豊かな人間関係を築くことができます。

人は、落ち込み、苦しんだとき、誰かの一言で立ち直ることがあります。また、自暴自棄になり、他人のことを考えずに好き勝手に行動しているとき、誰かの一言で自分の愚かさにはっと気づくことがあります。**ある状況におかれた人がどんな「言葉かけ」でより良い方向に変わっていくのかを考え、話し合うことで相手の立場に立ったコミュニケーション能力の育成を図ります。**

場面1・2とも実際にあった話を参考に作成したのですが、正しい言葉かけを求めるのではなく、そんな言葉をかけられれば人は変わるだろうと思う言葉をどんどん考えてみましょう。正解を見つけるのではなく、考えてみることに重点を置きたいものです。実際にかけられた言葉は、最後に紹介するのもよいと思います。他の人のいろいろな考え方を受け入れる雰囲気をつくることも大切です。



すすめ方【90分】

準備物 付箋、模造紙、マーカー、ホワイトボード、BGM

1. 4～6人のグループをつくります。
2. BGMが流れる中、ファシリテーターが朗読する「ひとつの言葉」の詩を聴きます。
3. 場面1を読み補足説明を聞いた後、先生がかけた言葉について自分なりに考えたことを付箋に書きます。(付箋1枚に1つずつ書く。)
4. 一人ずつ書いた言葉をグループで発表しながら模造紙に貼り、グループで出されたものを全体で発表します。ファシリテーターは出されたものをホワイトボードに書き留めます。
5. 各グループの発表を聞いて感じたことを話し合います。
6. 場面2を読み、父親がサチコにどんな言葉をかけたのか、自分なりに考えた言葉をどんどん付箋に書きます。
7. 一人ずつ書いた言葉をグループで発表し、模造紙に貼ります。
8. 貼られた付箋を同じ意味のものでまとめ、見出しをつけます。
9. サチコの心を変える言葉についてグループで話し合って決定します。
10. 話し合って決めた言葉をロールプレイで発表します。
11. ふりかえりをします。
 - ・ 人を変える言葉かけについて
 - ・ 言葉かけ以外に人を動かすものについて

※単なるカッコいい言葉をかけたところで相手の心が動くわけではない。相手を大切に思い、相手の立場に立った真心のこもった言葉こそが大切である。また、言葉でなくても、抱きしめる等真心のこもった行動も同じ効果がある。一人の人間として尊重されていることを実感できることが大切である。
12. 最後に本当にあった言葉かけを聞きます。
(これはあくまで参考、これが目的ではない)

①場面1の言葉かけ

「ユキに幸せになってほしいからだよ」

それを聞いたユキは嬉しくなり、家に帰って一人で泣きました。大事に思われているんだなって実感できたから。それ以来まじめに頑張ることができたのです。

②場面2の言葉かけ

お父さんがサチコを抱きしめて

「サチコ、お前に寂しい思いをさせているのはお父ちゃんだ」

と言ったのです。





資料

資料1 ひとつの言葉

ひとつの言葉で喧嘩して

ひとつの言葉で仲直り

ひとつの言葉で頭が下がり

ひとつの言葉で笑い合う

ひとつの言葉はそれぞれに

ひとつの心を持っている

きれいな言葉はきれいな心

やさしい言葉はやさしい心

ひとつの言葉を大切に

ひとつの言葉を美しく



資料2

コミュニケーション力

コミュニケーション力とは、相手に自分の思いや考えをはっきりと伝えることや、逆に相手の思いや考えを共感的に聞くことなど、お互いの思いや気持ち、考えを伝え合う力のことです。自分の思いや考えを相手に配慮しながらはっきりと伝えたり、相手の伝えたい思いや考えを分かるように共感的に聞きとったりすることで、豊かな人間関係を築くことができます。

また、異なる文化や立場をもつ人々と、お互いを尊重して接するうえでも大切になります。このことが人権感覚を磨くことにもつながっていきます。



アサーションとは

アサーションとは、コミュニケーション・スキルの1つであり、主張・断言などと和訳されますが、日本語としては少し強い表現という印象があるためアサーションの本来の意味にそぐわず、アサーションと和訳せずと言ったり、「(さわやかな)自己表現」といったりしています。

「心理学入門講座」より引用 <http://www8.plala.or.jp/psychology/>

3つのコミュニケーションタイプ

アサーションの理論では、コミュニケーションのタイプを大きく3つに分けて考えます。その3つとは、アグレッシブ(攻撃的)、ノンアサーティブ(非主張的)、アサーティブです。

アグレッシブな方法とは、自分のことを中心に考え、相手のことはまったく考えないやり方です。例えば、失敗した人に対して、理由や言い分など聞く余地もなく頭ごなしに叱責をするような表現です。自分の気持ちは抑えることなく表現していますが、相手の気持ちは考慮していないので、相手は不快な思いをします。また、怒鳴ったり威圧的な態度で表現するだけでなく、どんなに優しい口調で言ったとしても、相手に選択の余地のないような状況で頼み事をするなど、巧妙に自分の欲求を押し付けて、相手を操作して自分の思いどおりに動かそうとする態度もアグレッシブな方法と言えます。

ノンアサーティブな方法とは、自分の感情は押し殺して、相手に合わせるようなやり方です。例えば、いつも友人に雑用を頼まれて嫌なのに、はっきりと断れずに引き受けてしまう態度のことです。このような態度は一見すると、相手を配慮しているようにも見えますが、自分の気持ちに率直ではなく、相手に対しても率直ではありません。自分の気持ちを抑え続けていると、次第に欲求不満がつり、相手に対して「譲ってあげた」という恩着せがましい気持ちや、「人の気も知らないで」という恨みがましい気持ちになってしまいます。



アサーティブな方法とは、自分の気持ちや考えを相手に伝えるが、相手のことも配慮するやり方、自分も相手も大切にしたいやり方です。アサーティブな自己表現では攻撃的な方法でも、非主張的な方法でもなく自分の気持ち、考え、信念に対して正直・率直に、また、その場にふさわしい方法で表現します。しかし、どんなにアサーティブに表現したとしても、それが相手に受け入れてもらえるとは限りません。お互いが率直な意見を出し合えば、相手の意見に賛同できないことも出てくるでしょう。そのときに、攻撃的に相手を打ち負かしたり、非主張的に相手に合わせたりするのではなく、お互いが歩み寄って一番いい妥協点を探ることがアサーティブなあり方であると言えます。



「心理学入門講座」より引用

アサーティブになる第一歩

どんなときにも攻撃的な方法での表現しかできない人や、非主張的な表現しかできない人もいます。また、友人など気心が知れた人に対してはアサーティブでいられるのに、親や上司など立場が上の人に対してはいつも非主張的になってしまったり、子どもや部下など立場が下の人に対しては攻撃的になってしまうなど、状況によってアサーティブな表現ができない人もいます。

常に攻撃的・非主張的な人も、状況によってそうになってしまう人も、まずは自分がどのようなときにアサーティブでない態度を取ってしまうのかを振り返ってみましょう。そこから、アサーティブになるための第一歩が始まります。

「心理学入門講座」より引用

資料3 アサーションチェックシート (チェックシートは、後に掲載しています)

アサーションチェックシートを使い、自分について、5段階でチェックして、それぞれ、a、b、c欄ごとに点数を合計しましょう。以下の傾向と得点の高い欄が自分の傾向であることを伝え、一つの指標として、自分のコミュニケーションの傾向を客観的に認識してもらいましょう。

- a: アグレッシブ(攻撃的) … 自分のことだけを考慮して、相手を見捨てて自分を押しとおす。
(自己主張型でマイペース)
- b: ノンアサーティブ(非主張的) … 自分を抑えて相手を優先し、自分のことを後回しにする。
(受動的で、自分の意思を明らかにしない)
- c: アサーティブ … 自分を大切にすると同時に、相手のことにも配慮する。
(自分の意思を大切にしつつ、相手も尊重する)

資料3 アサーション チェックシート ★次の各問を読んで、自分にあてはまると思う数字を下から選んで、書き入れましょう!!

1	人が非常にずるいことをした時、それをきちんと指摘する。			
2	なかなか決断できない。			
3	他の人の考え、意見、行動などをその人の前で批判する。			
4	都合の悪い時は、その人やその状況を避ける。			
5	自分の判断に自信をもっている。			
6	人をほめる時に、どのようにほめようか迷う。			
7	普段の生活で、カッとなることが多い。			
8	店員に熱心に勧められると、「いらぬ」と言えない。			
9	店員が自分より後に来た客に対応した場合、店員に文句を言う。			
10	議論では、自分から意見を言い出すのを控える。			
11	人にお金を貸して返ってこない時、返すように催促する。			
12	相手がわかったと言っても、なお議論を続ける。			
13	仕事中、人から見られていると気になる。			
14	映画館で、あなたの椅子を蹴り続ける人に、やめるように言う。			
15	人と話す時、目を合わせない。			
16	買った製品に欠陥があった時、返品・修理・交換するように言う。			
17	相手に怒りを感じた時、馬鹿という言葉を使う。			

18	社交的な場では、できるだけ目立たないようにする。			
19	しばしば人にとって代わって、決定する。			
20	愛情や好意を表に出せる。			
21	友だちにちょっと何かを頼んだり、助言を求めたりできる。			
22	自分の解答はいつも正しいと思う。			
23	あまり知らない人の会話に入っていくのは苦手である。			
24	友だちのあつかましい要求を拒否できる。			
25	近くの人吸うタバコが迷惑な時、そのことを相手に伝える。			
26	他の人を思いどおりに動かすため、怒鳴ったり脅かしたりする。			
27	人の話を最後まで聞かず、途中で話を取って自分でまとめる。			
28	人から不当に強く批判された時、黙ってしまう。			
29	食事での会話をいつも独占する。			
30	初対面の人に自分から進んで声をかけ、話を切り出す。			
		50	50	50

a b c

1	誰に対してもしない	(NO)
2	人や場合によってすることもあるがあまりしない	↑
3	人や場合を見て、するかしないか判断する	↕
4	人や場合によってしないこともあるがだいたいする	↓
5	誰に対してもする	(YES)



話の素材 (学習資料)

今日は、倉吉小学校の参観日です。

みっちゃんは、特別支援学級から1年1組の教室に移りました。

みっちゃんのお母さんは、初めての参観日を楽しみに学校へ来ました。

「これから図工の勉強をします。黒板をみてください。」

先生が、話をしていますが、みっちゃんは後ろを向いて、きょうちゃんに話しかけています。

お母さんは、教室の後ろで、みっちゃんに前を向くよう、手で合図をしています。

少しすると、今度はゴミを捨てに、ゴミ箱へとことこと行ってしまいました。

お母さんは、はらはらしてみています。

すると先生が、

「みっちゃん、帰っといで。」

と、優しく声をかけました。みっちゃんは、その声に、にこっとほほえむと自分の席に帰って行きました。

まわりの保護者は、みっちゃんの様子をチラチラと見えています。





学習のポイント

親は子どもが、みんなと同じだと安心しますが、少し変わったことをしたり、できなかつたりすると、不安になります。

どうして「同じ」ではないといけないのでしょうか。

それぞれの違いを認め合い、それぞれが持っている力を発揮できるようにすることが大切ではないでしょうか。

また、**一人一人違っていることが当たり前で、一人一人が尊重される**ために、障がいのある子どもを理解し、共に生きていくことを学びましょう。



すすめ方【60分】

準備物

1. 4～5人のグループをつくります。
2. 「話の素材」を読みます。その後、次のことについて話し合います。
 - ①お母さんやまわりの人はどんな気持ちだったでしょうか。
 - ②この場所にあなたがいたらどう感じますか。それはなぜでしょう。

*ファシリテーターは、学習のポイントに書いてある「みんなと同じだと安心するが、少し変わったことをしたり、できなかつたりすると不安になる」というようなことが話し合いに出てくるように促す。

グループで話し合ったことを発表します。
3. 一人一人が尊重される学校、地域にするために、私たちができることについて話し合います。

グループで話し合ったことを発表します。

*次に、校内の特別支援学級について説明し理解を得ることをしてもよいでしょう。
4. ファシリテーターが、話し合いで出てきた意見や、学習のポイントなどをありませながら、感想を言って終わります。

* **資料1** を使って、親子で話し合うこともできます。



資料

資料1

倉吉市人権絵本作成委員会制作の「私のひみつ」を読み、親子で話し合うこともできます。

他にも、同じく倉吉市人権絵本作成委員会制作の「はれたらいいな」「くわがたとりのひみつの木」も参考絵本として使うこともできます。

☆上記の絵本は、鳥取県内の下記のところに配布してあります。

東・西部地区は、鳥取県立図書館、鳥取県立人権ひろば21ふらっと
鳥取市立図書館、米子市人権情報センター

中部地区は、各保育所・幼稚園、小・中・高等学校、市町図書館、
倉吉市内の人権文化センターなど

参考

発達障がいとは、発達の過程がうまくいかないことによる障がいです。特に脳機能によるもので子どものうちにあらわれるものをいいます。

「発達障害者支援法」第2条第1項では、「この法律において『発達障害者』とは、自閉症、アスペルガー症候群その他の広汎性発達障害、学習障害、注意欠陥多動性障害その他これに類する脳機能の障害であってその症状が通常低年齢において発現するものとして政令で定めるものをいう。」と定義されています。

*正しく学ぶために、冊子や絵本などがたくさんでていますので参考にしましょう。



「こんなメールが…」 こんなときどうする??



話の素材 (学習資料)



ホントごめん!!
送らなかつたけどちょっとヤバそうだから・・・
信頼できるあなただから送ったので、読んで、すぐにほかの人に送って
ナッ!

“11月22日(土)に〇〇県〇〇町〇〇番地で、傷害事件が起きました。
警察が動いていますが、中学生が関係しているらしいので、ここ数日の動きを確認す
るため聞き取りに回ってきます。この情報を必ず10人に送って下さい。パソコン・ケ
ータイ・ピッチそれぞれの位置情報からメールの確認ができるようになっています。
10人に送らなかつたらすぐわかるので、今すぐ送って下さい。”

★テレビ番組「〇〇でGOー!!」の企画です。
この★印の付いたメールが、担当者Y/Yから始まってどこまでつながる
かの実験をしています。急いで10人の知り合いにメールしてね!
この結果は12月25日の特番で放送されます。

これチェーンメールじゃないよ! 止めないで!!





学習のポイント

ケータイ・インターネットの世界は、瞬時に多数の情報が手に入るなどとても便利ですが、一方ではサイトへの書き込み、いじめ、有害サイトの氾濫などバーチャルな世界に入ってしまう子どもたちの現状があります。

具体的な例として、突然親しい友だちなどからチェーンメールが届き、どのように対応したらよいか分からなくなり、一人で抱え込んだり、わかっている（不安になる・面白半分に）他の友だちや知人に送ってしまったりしてしまいます。

ネット上で起こるこうした現象が、精神的な苦痛を伴い人間関係を壊したり、個人情報のバラマキになったりすることが多くあることを学習しましょう。

子どもたちを取り巻く様々な人たちが、不安や戸惑いを相談してもらえる大人になることや、そのためにも子どもだけではなく、一人一人が大切な存在だという意識（自尊感情）を高める普段の関わりあいについて確認しましょう。



すすめ方【70分】

準備物 学習資料・資料・ワークシート・グループ用記録紙

1. 「話の素材」をもとにグループ（1グループ4～5人がよい）で話し合います。
 - ①こんなメールが、あなたやあなたのお子さんに届いたことはありますか？
 - ②こういったメールの問題点は何でしょうか？
 - ③子どもたちが、なぜこういったメールのやりとりをしてしまうのでしょうか？
2. グループの発表をします。

ファシリテーターは、出た意見をふまえながら、「ネット上で起こるこうした現象が、精神的な苦痛を伴い人間関係を壊したり、個人情報のバラマキになったりすることが多くあること」を伝えても良いでしょう。
3. 子どもとの関わりについて、周りの大人たちに何ができるかを話し合います。

「ケータイ・インターネットチェックシート」を参加者それぞれに書いてもらい、個々に気になったことを出し合いながら、何ができるかを具体的に考えてみることもできます。
4. グループで話し合ったことを発表し、全体の共有の場とします。

この学習のポイント（目的）を再確認して終わります。（赤字箇所）

※ **資料1** 「チェーンメール」を参考にその対処方法を知るとともに、ケータイ・インターネット上のトラブルからくる子どもたちの不安定な心の揺れはどうして起きるのか、また、あふれる情報に左右されない力をつけるためにはどうしたらよいか、私たちが相談してもらえる大人になるためにはどうしたらよいかを考えることが大切です。

※いけないと思ったことを「だめ！」というだけではなく、なぜだめなのかを説明し、不安になっている子どもたちとともに考える大人たちの姿勢は、信頼感を生み、子どもたちが大切にされている実感（自尊感情）が持てるようになります。



資料

資料1

チェーンメール

● 迷惑の連鎖、チェーンメール

チェーンメールは、「不幸の手紙」のメール版で、受け取った人に誰かに転送させることを目的とした迷惑メールです。

転送が目的なので受信者に対して、「誰かに送らなければ不幸になる」「危害を加える」などと、脅かす内容が多く、主に小中学生などの子どもの間でやり取りされています。

大人にとってはすぐに嘘だと分かる内容も、「殺しに行く」「呪われる」などの言葉が書かれていると、どうしても不安で無視できない子どもが友人たちに送ってしまう場合があります。

また、受験のお守りや恋愛祈願などの内容のチェーンメールの場合、悪気なく転送する子どもも多いようです。しかし、チェーンメールは勝手な転送を押し付ける「迷惑メール」であり、周囲に悪影響を及ぼすこととなりますので、絶対に転送してはいけません。

なお、保護者の方は、頭ごなしに転送してはいけないと教えるのではなく、チェーンメールは他人に迷惑をかけるものであり、転送しなくても何の心配もないことを伝え、安心させてあげるようにしてください。

迷惑メール相談センターでは、不安になっている受信者のために、チェーンメールの捨て場所となる転送先アドレスを提供しています。

どうしても不安な場合は、友人・知人にチェーンメールを送ってしまう前に迷惑メール相談センターへ転送してください。



ケータイ専用アドレス

risu1@ezweb.ne.jp
risu2@ezweb.ne.jp
risu3@ezweb.ne.jp
dakef1@docomo.ne.jp
dakef2@docomo.ne.jp
dakef3@docomo.ne.jp
dakef4@docomo.ne.jp
dakef5@docomo.ne.jp
kuris1@t.vodafone.ne.jp
kuris2@t.vodafone.ne.jp

パソコンアドレス (ケータイからも可)

sun@dekyo.or.jp
mercury@dekyo.or.jp
venus@dekyo.or.jp
earth@dekyo.or.jp
moon@dekyo.or.jp
mars@dekyo.or.jp
jupiter@dekyo.or.jp
saturn@dekyo.or.jp
uranus@dekyo.or.jp
neptune@dekyo.or.jp





● どうしてチェーンメールを回してはいけないの？

送る内容にあなたは責任が持てますか？

メール本文は簡単に書き換えることができます。たくさん転送される中で、情報が書きかえられたり、危険なアドレスが付け加えられていることもあります。内容を問わず、作成者も事実も確かめることができないチェーンメールは転送してはいけません。

誰かに送るように、などと押し付けないで！

突然送りつけられた上に、転送まで強制されて、“回さないと不幸になる”、なんてすいぶん勝手な話だと思いませんか？ 自分が受け取った時の嫌な気持ちを、また更に転送する相手に押し付けるチェーンメールは迷惑そのものです。転送してしまえば今度はあなたが迷惑メールの加害者になってしまうことでしょう。



ポイント

- ◎チェーンメールは無視して止めること
- ◎内容は全部デタラメ。安心してください
- ◎どうしても心配な時は、迷惑メール相談センターへ転送しましょう

財団法人日本データ通信協会
迷惑メール相談センター
迷惑メール対策BOOK「撃退！迷惑メール」より



資料2 「ケータイ・インターネット」チェックシート

	チェック内容	○印
1	よく、ケータイ・インターネットにかかわる事件や情報について、新聞、テレビなどで調べている	
2	ケータイ・インターネット、ケータイゲームなどの使い方について家庭で話し合っていてルールをつくっている	
3	子どもたちの使っているゲームの内容を知っている	
4	ケータイが子どもたちに今必要かどうか話し合ったことがある	
5	ケータイ・インターネットのフィルタリングについてその必要性を知っている	
6	子どもがケータイ・インターネットでの買い物をしたことがあるかどうか知っている	
7	子どもたちが使っているケータイ・インターネットの使用料金や、時間を確認している	
8	保護者として、ケータイ・インターネット使用に関して明確な意識を持っている	
9	学校・家庭がケータイ・インターネットと子どもたちの現状について協議したりして連携を図っている	
10	ケータイ・インターネット、ケータイゲームなどを使っていて困ったことがあったらどうしたらよいか家族で話し合っている	

★どの項目が気になりましたか？

★○をつけた項目がなぜ気になったのかについて話し合みましょう

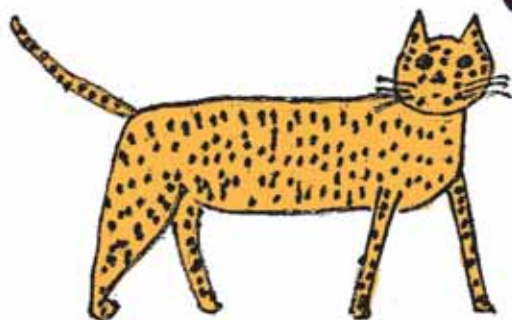


今子どもたちは、ケータイ・インターネット、オンラインゲームなどを使いたいという願いが強く、また、私たちの社会には、ケータイ・インターネット、オンラインゲーム機が普通の生活に切っても切り離せないように入り込み、当たり前のように普及、利用されている現状があります。メールやチャット、掲示板、ショッピング、オンラインゲームをしている子どもたちには、トラブルは表裏一体、いつ自分に降りかかってくるかわからない状況にあります。まず現状を知りましょう！ トラブルの対処方法を知りましょう！ そして、たくさんの情報に振り回されないように、今大切なことは何かを話し合みましょう。人と人とをつなぐ本当のコミュニケーションとは？ 自分を大切にすることとは？ 子どもの健やかな成長を目指して大人が考え、できることとは？

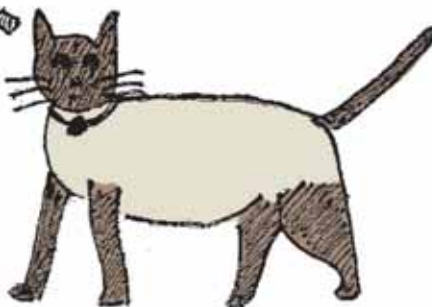
9 猫の世界

話の素材 (学習資料)

のら猫 (雑種)
ゴン太ちゃん



シャム猫
マリーちゃん



おい、マリー！お前は血統書つきの10万円の猫なんだぞ！
のら猫なんかと遊ぶんじゃない！



娘



父





学習のポイント

何故、多くのビジネスマンやセールスマンは、真夏でもネクタイ・スーツを着用するのでしょうか。真夏には半袖シャツにノーネクタイの方が機動的であり業務効率もアップするはずなのですが、「顧客の信頼を得るためにはネクタイ・スーツ着用は欠かせない。」と考えるのが一般的のようです。

人は「身につけている衣類・装飾品」のほか、「家柄・家業」「学歴」「勤務先・肩書き」「住宅、自動車等の財産」など本質（内面）でない要素で他人を評価し、「格差づけ」「見下し」してしまうことがあります。

そのことにより、時として、無意識のうちに他人を傷つけたり、不快な思いをさせたり、また、偏見や人権侵害につながったりもします。私たちみんなが、そのようなことがないように常に留意しておく必要があります。

ここでは、猫を飼っている家庭での何気ない発言や、子どもの結婚相手に望むことを考えることを通して、本質（内面）でない要素で評価することについて気づき、また、江口いとさんの「人の値うち」を参考にしながら人権について考えます。



すすめ方 【90分】

- 4～5人のグループをつくります。
- 「話の素材」を配り、グループで空白のセリフを話し合います。
 - 男性のセリフに対して肯定的な立場と否定的な立場の両方のセリフが予想されます。正解はありません。セリフを出し合い、グループで話し合います。
- 自分の子どもが結婚を考える年齢に達したと想定して、親として、どのような相手がふさわしいと思うかグループで話し合います。
 - まず、用意した16項目から個人で上位5位までランキング。次にグループで話し合い、3位までランキングを作成します。（「資料1 子どもの結婚相手に望む条件ランキング」に記入する。）
 - グループで作成したランキングと「資料2 結婚相手の条件」とを照らし合わせて、本人が考える条件とのギャップについて確認する。
 - 本人においては、「性格・パーソナリティ」や「価値観・相性」等の本質（内面）的要素が重視され、「学歴」「持ち家」「財産・貯蓄額」等の要素は重視されていないことを理解する。
- グループごとに話し合いの中で出た意見や気づいた点について代表者が発表します。
 - 「話の素材」の男性の発言は、猫の本質（内面）に基づいていないことに気づく。
- ファシリテーターが「資料3（人の値うち）」を朗読し、グループの発表や学習のポイントを織り交ぜながら、感想を言って終わります。



資料

資料1 子どもの結婚相手に望む条件ランキング

- 1 あなたのお子さんが結婚するとした場合、結婚相手に望む条件として大切だと思うものを次の中から1位から5位までランキングしてみましょう。

記号	条件	ランキング
A	性格、パーソナリティー	
B	価値観・子どもとの相性	
C	収入・経済力	
D	容姿・容貌	
E	子どもの仕事に対する理解と協力	
F	二人の共通の趣味	
G	家事・育児に対する能力・姿勢	
H	二人の対等意識	
I	年齢	
J	センス	
K	職業	
L	自分たち親との同居	
M	相手(実)の親との別居	
N	学歴	
O	持ち家	
P	財産・貯蓄額	

- 2 グループで話し合ってベスト3を決めましょう。

1位 2位 3位

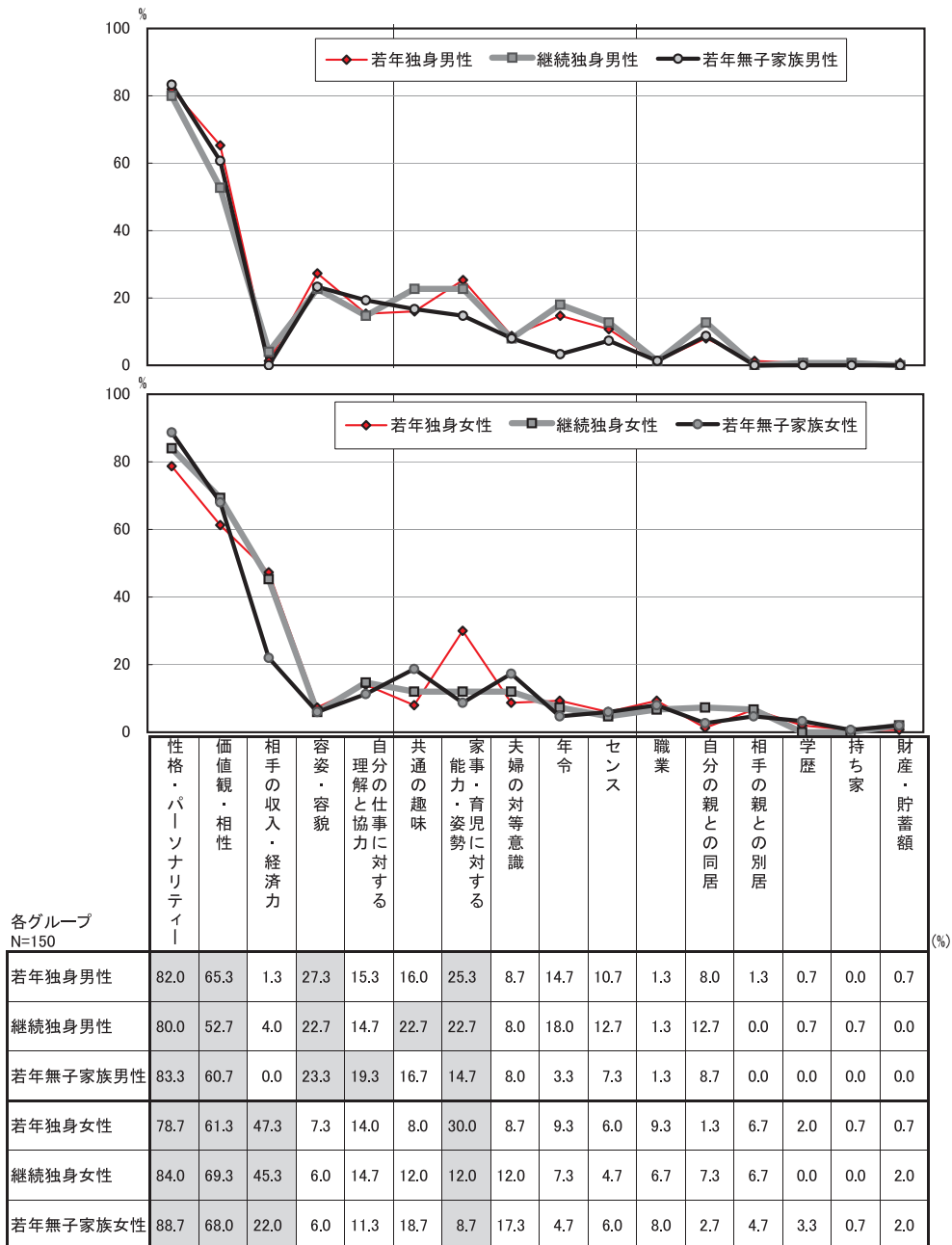
1位に選んだ理由は



資料2 結婚相手の条件 (「少子化に関する意識調査研究報告書 (H16.3厚生労働省)」より)

- 若年独身男性 …… 20歳～32歳 独身
- 継続独身男性 …… 33歳～49歳 独身
- 若年無子家族男性 …… 20歳～49歳 既婚 子ども無し 妻が20歳～31歳
- 若年独身女性 …… 20歳～30歳 独身
- 継続独身女性 …… 31歳～49歳 独身
- 若年無子家族女性 …… 20歳～31歳 既婚 子ども無し 夫の年齢不問

図表2-5. 結婚相手の条件(回答3つまで)(基数:全体)



資料3 一人の値うち

何時かもんぺをはいて バスに乗ったら 隣座席の人は私を おばはんと呼んだ

戦時中よくはいたこの活動的なものを どうやらこの人は年寄りの
着物と思っているらしい

よそ行きの着物に羽織を着て 汽車に乗ったら 人は私を奥さんと呼んだ
どうやら人の値うちは 着物で決まるらしい

講演がある 何々大学の先生だと言えば 内容が悪くても
人々は耳をすませて聴き 良かったと言う
どうやら人の値うちは 肩書きで決まるらしい

名も無い人の講演には 人々はそわそわして帰りを急ぐ
どうやら人の値うちは 学歴で決まるらしい

立派な家の娘さんが 部落にお嫁に来る
でも生まれた子供はやっぱり 部落の子だと言われる
どうやら人の値うちは 生まれた所によって決まるらしい

人々はいつの日 このあやまちに気付くであろうか

(「人の値うち～江口いと人権の詩(うた)～」 明石書店)



10 ホップ・ステップ・ジャンプ!



話の素材 (学習資料)





学習のポイント

平成21（2009）年度に全国の国公立私立の小中高校が把握した学校内外での児童・生徒による暴力行為の件数は、4年連続で増加し過去最多の計60,913件に上がったことが、文部科学省の問題行動調査でわかりました。

差別やいじめの現場には必ず「加害者」「被害者」「傍観者」がいます。特に「傍観者」の立場にいたることが差別やいじめを助長しています。

このような現実を踏まえ、すべての子どもたちが安心して学べる人間関係を築くために何が大切なのかについて考えてみましょう。



すすめ方 【60分】

準備物 記録用紙, マジックペン

1. 4～5人のグループをつくります。
2. 最近の我が子のエピソードを中心に自己紹介をします。
3. 「話の素材」のイラストを見て話し合います。
 - ・イラスト（教室内の出来事）を見て話し合います。
 - ・それぞれの考えていることや気持ちを吹き出しに書きこみます。
 - ・誰が「加害者」「被害者」「傍観者」なのか、グループで話し合います。
4. 子どもたちが安心して学べる教室にするために何が大切か話し合います。
 - ・記録者を決め、話し合いの内容をまとめます。
 - ・自分の子ならどう思うか、話し合います。
 - ・イラストの中の様々な立場の子どもたちにできることについて話し合います。
5. グループでまとめたことを発表します。
 - ・それぞれの発表を尊重し、短いコメントを入れます。
6. 数人に話し合いの感想を聞き、ふりかえりをします。





資料

平成21年度「児童生徒の問題行動等生徒指導上の諸問題に関する調査」 文部科学省

1 調査結果の主な特徴

- 1) 小・中・高等学校における**暴力行為の発生件数は約6万1千件**と、前年度(約6万件)より1千件増加し、**小・中学校においては過去最高の件数にのぼる**。
- 2) 小・中・高・特別支援学校における**いじめの認知件数は約7万3千件**と、前年度(約8万5千件)より約1万2千件減少している。
- 3) 高等学校における**不登校生徒数は約5万2千人**と、前年度(約5万3千人)より約1千人減少し不登校生徒の割合も1.55%と前年度(1.58%)より減少している。
- 4) 高等学校における**中途退学者数は約5万7千人**と、前年度(約6万6千人)より約9千人減少し、中途退学者の割合も1.7%と、前年度(2.0%)より減少している。
- 5) 小・中・高等学校において**自殺した児童生徒は165人**である。

2 学校内外を合計した暴力行為の発生件数の推移

	18年度	19年度	20年度	21年度
小学校	3,803	↑ 5,214	↑ 6,484	↑ 7,155
中学校	30,564	↑ 36,803	↑ 42,754	↑ 43,715
高等学校	10,254	↑ 10,739	↓ 10,380	↓ 10,038
合計	44,621	↑ 52,756	↑ 59,618	↑ 60,913





話の素材 (学習資料)

森の子どもたち





学習のポイント

子どもたち一人一人が成長し、人間らしく生きていくためには何が必要でしょうか。食べ物や衣服、家やお金？ 恐ろしいことから守ってもらうことや、自分の意見を聞いてもらうことも大切です。人間らしく生きるために大切なものが権利です。

しかし、今の社会の中では権利行使の主体として尊重されなかったり、人間としての尊厳が傷つけられたりする現実があります。

そこで、子どもの権利についてさらに理解を深めるために、子どもたちのおかれている現実と権利を結びつけ、考えてみましょう。



すすめ方 【90分】

準備物 付箋(大), 模造紙, マジックペン

1. 4～5人のグループをつくります。
 - ・子どもの命名の由来について紹介します。
2. 「話の素材」のイラストを見て感じたことを話し合います。
 - ・イラストから、現在の子どもの問題の糸口をつかみます。
(例: 遊び、学び、食事 etc)
3. 子どもたちの現実の生活から、問題を拾い上げまとめます。
 - ・子どもたちが直面している問題を付箋に書き入れます。
 - ・それぞれの問題をグループで整理します。
4. 問題を「子どもの権利条約(4つの柱)」と結びつけ、話し合います。
 - ・付箋を4つの権利の枠にあてはめていきます。
 - ・活動を通して思ったこと・考えたことを話し合い、まとめます。
(気づいたこと、疑問に思ったことなど)
5. グループでまとめたことを発表します。
6. 学習についてのふりかえりをします。
 - ・子どもの権利条約の要点を説明し、まとめます。



活動例 子どもの現実と人権を結ぶ

① 生きる権利	①	付箋 (大)			② 育つ権利
				②	
③ 守られる権利		③			④ 参加する権利
			④		

①の例

〇夕ご飯くらい家族で食べたいけれど、なかなか難しい。

②の例

〇日曜日なんか、くたびれて寝ていることが多く心配だ。

③の例

〇日が暮れるのが早くなって子どもたちの下校が心配だわ。

④の例

〇夜遅くまでメールを打っているようだけれど、大丈夫かな。



子どもの権利条約のあらまし

我が国が平成6(1994)年に批准した児童の権利に関する条約(子ども権利条約)では、子どもにかかわる全てのことは、子どもにとってもっともよいことは何かを考えて行われなければならないと定められています。

また、子どもの持つ権利が約40条あげられていますが、それらは以下の4つに大きく分けられます。

生きる権利

- 防ぐことのできる病気などで命を奪われないこと。
- 病気やけがをしたら治療を受けられること。



など。

育つ権利

- 教育を受け、休んだり遊んだりできること。
- 考えや信じることの自由が守られ、自分らしく育つことができること。



など。

子どもの権利

守られる権利

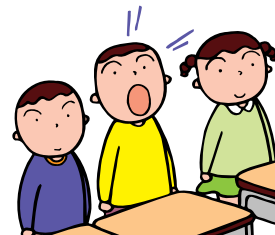
- あらゆる種類の虐待や子どもの幸せを奪って利益を得るようなことから守られること。
- 障がいのある子どもや少数民族の子どもなどは特別に守られること。



など。

参加する権利

- 自由に意見を表したりすることができ、子どもの発達に応じてその意見が考慮されること。
- 集まってグループを作ったり自由な活動をしたりできること。



など。



12 さあ、どうする？

話の素材 (学習資料)

さあ、どうする？

場面①



近所の住宅街を歩いていた時のことです。わが子のクラスメートの家の前にさしかかると、どなり声が聞こえました。思わず近づいて生垣の間をのぞいたところ、子どもが親に何度も殴られ、うずくまっている様子が見えました。この子の親は、PTAの集まりで発言力のある人物として有名です。視線に気づいた親は、「これは我が家の躰ですのでご心配なく」と言って、子どもを引きずるように家の中に入れ、戸を閉めてしまいました。

親しいPTA仲間にとっと相談すると、「相手が悪いよね。どうしようもないよ」と言われました。さあ、どうする？

場面②



あなたはわが子から、クラスの中での気になる話を聞きました。休み時間や放課後に、クラスの数人が特定のクラスメートをからかったり、持ち物を隠したりしているそうです。その様子をじっと見ていると、「遊んでるだけだよ。〇〇さんには関係ないでしょ？」と言われたとのことです。

「で、どうするの？」とあなたが子どもにたずねると、「あの人たちと仲良いわけじゃないし、どうしようもないよ」と答えます。さあ、どうする？



学習のポイント

人権が尊重される社会を実現するためには、「差別や人権侵害を許さないという姿勢を持つ」だけでなく、「直面した差別・人権侵害に対して適切に対処するための具体的な方法をいくつか知っておくこと」が重要です。ここでは、「虐待」「いじめ」に直面したときの言動について、次の視点で考えます。

- 「虐待やいじめを許してはいけない」という気持ちを行動に移すにはどうすればよいかを考えます。
- 問題があると思われる場面に出合ったとき、自分がどう対処するかで状況が変わることを確認します。
- 子どもからクラスの中の問題を聞いたとき、どのようにアドバイスすればよいかを考えます。



すすめ方【120分】

1. 4～5人程度の小グループをつくります。
2. 場面①を見ながら、各グループ内で次のことを話し合います。
 - A この問題に関わり解決しようとするなら、どんなことができそうですか？
(小さな行動でもOK。具体的に。)
 - B この問題に関わろうと行動することによって、どんなことが起こりそうですか？
(良いことも悪いことも含めて、予想されること。)
 - C この問題に関わらなかった場合、どんなことが起こりそうですか？
(目撃した親子に起こること、関わらなかった自分自身に起こること、学校や周囲、子どもたちに起こることなど。)
3. 全体で意見を共有します。
4. ここまでの話し合いを通して気づいたことや感じたことを、全体で整理します。
5. 再び各グループに戻り、場面②を見ながら、ここまでの成果をもとに次のことを話し合います。
 - D 保護者として、子どもに対しどのようなアドバイスやサポートができると思いますか？
6. 全体で意見を共有します。
このとき必要であれば、子どもたちは親に言い聞かされることだけでなく、「親の背中（日々の行動）」からも多くのことを学んでいることを指摘します。
7. 最後に、この研修全体を通して自分が学んだことや今後活かしたいことについて各グループで話し合い、数人に全体に対して発表してもらいます。
8. 人権教育は、学んだことが行動に活かせることを確認し、互いに励まし合い、相談し合いながら人権が尊重されるPTAの仲間づくりや学校づくりをしていこうと呼びかけて、研修を終了します。

参考 児童虐待が疑われる子どもを発見した人には、通報の義務があります。

「児童虐待の防止等に関する法律」第6条

児童虐待を受けたと思われる児童を発見した者は、速やかに、これを市町村、都道府県の設置する福祉事務所若しくは児童相談所又は児童委員を介して市町村、都道府県の設置する福祉事務所若しくは児童相談所に通告しなければならない。

話の素材(学習資料)

8歳の息子は、発達障害(ADHD)があり、多動的傾向があります。先日、登校中に同じ班の友だちにちょっかいを出して、口喧嘩になり、相手を叩いて鼻血を出したことがありました。親としてどうしたらよいのでしょうか？



女性 33歳

私は趣味で、休日によく車イスバスケットをします。最近、試合である公共施設の体育館に行くのですが、よく障がい者用の駐車場に車が置いてあって困っています。よく見るとその車は、私の知っている近所の方の車です。その方とは普段からお付き合いがあり、今後もいいお付き合いをしようと思っているので、とても言えません。どうしたらよいのでしょうか？



男性 35歳

私の長女は、小学校1年生です。学校のすぐ近くに障がい者支援施設があり、学校の帰りに、うちの娘がたまたま、施設に入所されている知的障がいのある方とお話をしていたそうです。話をしても、なかなか話の内容がかみ合わないの、娘が思わず「大人のくせにこんなことも知らないの？もういいわ…。」と言って喧嘩になったと娘から聞きました。親としてはどうしたものでしょう。



男性 38歳

私は進行性アルツハイマー病で、年々物忘れがひどくなってきているように思います。週3回、デイサービスを利用しています。先日、介護士さんに「おばあさんは、紙に書いてあげても、すぐ忘れてしまうので、本当に大変だわ…。」と言われました。確かに、物忘れがひどくなってきているのは事実ですが、面と向かって言われるとつらく感じます。どうしたらよいのでしょうか？



女性 78歳





学習のポイント

障がいのある人やその家族の立場、或いは周りの人の立場に立って考えてみる大切
です。障がいのある人の人権を自分自身の問題として捉え、その解決方法を考えたり、いろ
んな意見を聞くことによって、障がいのある人と共に生きるということについて考えてみま
しょう。いろいろな障がいがあることに対する多様性と受容について考えたり、障がい者の尊
厳・自由・保護についても考えてみましょう。



すすめ方【70分】

準備物 A～Dのカード、模造紙（各グループ分）

1. 4人グループになり、「私の悩み」について、みんなで相談者にアドバイスをしましょう。
 - ・4人グループで、順番にA～Dのカードを引きます。
 - ・順番に相談者になり、悩みを相談します。残りの人は、相談員となって、アドバイスをし
ましょう。
 - ・アドバイスを受けたことをカードにメモしておきましょう。
（一人の相談時間を決めて、順次交代していきましょう）
2. 次に席替えをして、同じカードを引いた者同士でグループをつくり直します。それぞれの
グループからもらったアドバイスのメモを紹介し合い、それらを参考に自分たちの意見を出し
合い、解決方法を模造紙にまとめます。
3. A～Dのグループ毎に発表します。
 - ・ファシリテーターは、発表者の意見を肯定的に尊重するようコメントをしましょう。
4. 障がいのある人々と共に生きるという観点から、私たちがやるべきこと、大切にすべきこ
とは何かを考え、数人に考えを聞きます。
5. 学習のふりかえりとまとめをします。



資料

資料1 カード例

<p><アドバイス></p>	<p>相談者 女性 33歳 A</p> <p>私の悩み</p> <p>8歳の息子は、発達障害（ADHD）があり、多動的傾向があります。先日、登校中に同じ班の友だちにちょっかいを出して、口喧嘩になり、相手を叩いて鼻血を出したことがありました。親としてどうしたらよいでしょうか？</p>
<p><アドバイス></p>	<p>相談者 男性 35歳 B</p> <p>私の悩み</p> <p>私は趣味で、休日にはよく車イスバスケットをします。最近、試合である公共施設の体育館に行くのですが、よく障がい者用の駐車場に車が置いてあって困っています。よく見るとその車は、私の知っている近所の方の車です。その方とは普段からお付き合いがあり、今後もいいお付き合いをしようと思っているので、とても言えません。どうしたらよいでしょうか？</p>
<p><アドバイス></p>	<p>相談者 男性 38歳 C</p> <p>私の悩み</p> <p>私の長女は、小学校1年生です。学校のすぐ近くに障がい者支援施設があり、学校の帰りに、うちの娘がたまたま、施設に入所されている知的障がいのある方とお話をしていたそうです。話をしても、なかなか話の内容がかみ合わないで、娘が思わず「大人のくせにこんなことも知らないの？もういいわ…。」と言って喧嘩になったと娘から聞きました。親としてはどうしたものでしょう。</p>





<p>〈アドバイス〉</p>	<p>相談者 女性 78歳 D</p> <p>私の悩み</p> <p>私は進行性アルツハイマー病で、年々物忘れがひどくなってきているように思います。週3回、デイサービスを利用しています。先日、介護士さんに「おばあさんは、紙に書いてあげても、すぐ忘れてしまうので、本当に大変だわ…。」と言われました。確かに、物忘れがひどくなってきているのは事実ですが、面と向かって言われるとつらく感じます。どうしたらよいのでしょうか？</p>
----------------	---

解決方法の例

〈Aのカードについて〉

- ①喧嘩をした相手の家に謝りに行く。その際に、我が子の障がいについて説明し、理解を求める。
- ②親としてまず、息子の友だちと仲良くなりたいたいという気持ちをきちんと受け止める。
- ③親は息子に対して、いくら腹が立っても暴力だけはいけないことを伝えると共に、周りの友だちに息子への理解と協力をお願いする。
- ④身近な友だちや学校、関係機関等に相談する。

〈Bのカードについて〉

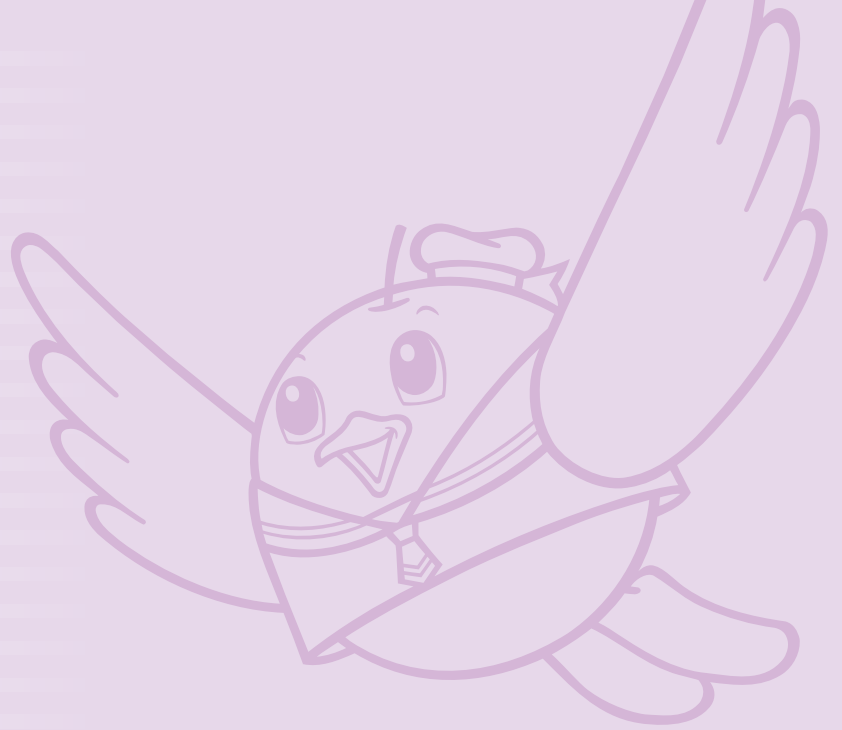
- ①Bさんの直接言いたくても、なかなか言えない立場を理解し、その気持ちを受け止める。
- ②同じチームの仲間と一緒に行って、Bさんの気持ちを伝えるようにする。
- ③公共施設の管理人さんに伝え、対応を考えてもらうようにする。
- ④自分の思いが、直接伝えられるような人間関係を平素から築くように努める。

〈Cのカードについて〉

- ①相手にきちんと謝りに行き、我が子には、相手に対して大変失礼なことを言ったということをよく説明し、納得させることを伝える。
- ②親として、娘の気持ちをまずきちんと受け止める。
- ③知的障がいということが、小学1年生の娘にも分かるよう、例えば「産まれたときに頭の中にほんのちょっとした傷があって、それであなたが話していることがうまく伝わらないの。決して相手の人は、ふざけているわけではないの。」というように説明する。
- ④学校や家庭でも、人はみんな違って、障がいがあってもなくても人間としては同じであることを教える。

〈Dのカードについて〉

- ①Dさんの「物忘れが、年々ひどくなってきていることは分かっているが、介護士さんに面と向かって言われるのがつらい。しかもそのことが言えない。」という思いを受け止める。
- ②周りの人から、介護士さんにDさんの気持ちをうまく伝えてもらう。
- ③主任介護士さんに相談する。また、介護士の研修会で取り上げてもらうようお願いする。
- ④自分の思いが、直接伝えられるような人間関係を平素から築くように努める。



5 実践してみましたコーナー

実践してみました

- その1 それってホント？
- その2 それってホント？
- その3 おしゃべりカード
- その4 一人一人が輝く素敵な学校を一緒に作りませんか？
- その5 一人一人が輝く素敵な学校を一緒に作りませんか？
- その6 あいさつで人権尊重のまちづくり？！
- その7 4つのゾーン
- その8 心が動くひとつの言葉
- その9 猫の世界

実践をお寄せください！

この人権学習プログラムを「こんなふうに使ったよ。」という実践をお寄せください。皆さんからいただいた感想や、学習資料（細案、資料、ワークシート等）は、このプログラムの活用を検討されている方への参考になるよう、ホームページ等で紹介させていただきます。

***実践報告用紙を載せていますので、ご活用ください。**



その1

それってホント？

実施日：平成22年11月5日 参加者：小学生保護者25名

① ねらい

- 先入観や思い込みによって、人をひとくくりに判断するのではなく、その「人」自身を理解し、認め合うことの大切さに気づく。
- 固定観念→偏見→差別という意識から行動化へ向かう心の仕組みについて理解する。

② 学習プログラムの流れ

<実施時間：75分>

流れ	分	学 習 活 動	資料・準備物等
はじめに	5	1. ファシリテーターの自己紹介	3つの約束「参加」「尊重」「守秘」のカード
導 入	5	2. ワークショップの進め方について 3. アイスブレイキング ・「アイスブレイキングシート」で、後だしジャンケンを行った後、5人組をつくる。(5人×6班)	
展開1	5	4. 『話の素材』を全員に配り、全体の中で、イヌ・ネコ役各1名を決め、代表者が読む。	
展開2	10	5. 各自の「固定的な見方」や「決めつけ」をキーワードに、自分のエピソードを思い出し、グループで話し合う。(悲しい思いをしたり、させたりしたこと) ※思い出せない人のために、資料6を掲示する。	資料6
展開3	15	6. 各自の「固定的な見方」や「決めつけ」は、どのように植えつけられたかをふりかえる。また、「なぜ『～だ』と決めつけて信用してしまうのか」についてグループで話し合い、模造紙にまとめる。	模造紙、マジック
展開4	18	7. 「固定的な見方」や「決めつけ」により、悲しい思いやいやな思いをしないためにできることをグループで話し合い、模造紙の下段に記入する。	資料7
展開4	18	8. グループで話し合ったことを発表し合う。(3分×6グループ) ※ 資料7をまとめとして使用することもできる。	
まとめ	2	9. まとめとして、ファシリテーターが固定概念(ステレオタイプ)から偏見、差別につながる過程を説明し、理解を図る。	

ファシリテーター：県教育委員会事務局職員



③ 実践してみても(次の方へのアドバイス)

- 展開2の後半では、ファシリテーターが「子どもは固定観念を持っていそうか」「どのように子どもの固定観念が形づくられていきそうか」など、子どもを意識するような問いかけをすると、子育てや家庭教育に役立つ気づきや対応策が生まれやすくなると思います。
- 初めから、「決めつけはよくない」というのではなく、「固定観念や決めつけがなぜいけないのか」ということについて、イヌとネコの会話から考えてみることも一つの方法です。
- **資料6**を配布することで、グループでの話し合いが活発になったようです。

④ 参 考

1 それってホント？

話の素材(学習資料)

イヌ: やあネコさん、あ久しぶり。

ネコ: (少し元気がない様子)

イヌ: ネコさん、なんか元気がないみたいだけど、どうしたの？

ネコ: イヌさんはいよね〜。三日酔ったら主人のことを忘れないほど悪く、芸も覚えて貰ってみんなから言われてるもんね。それに比べてネコなんか、気まぐれで飼い主のことを裏切るとか、見かけは穏やかでも内心は違うと思われたり、あげくのぼるは死んだらばけて出るなんて思われたりして、いいことなんて全然ないもんね。

イヌ: 確かにそんなことを言われることもあるけど、全部のイヌがそうだとは思わないよ。それよりネコさんは、高い所から落ちて足から落ちてけがをしないんだよ。

ネコ: そんなふうに思われているところもあるみたいだけど、でもそれで高い所から落とされてひどい目に遭った友だちもいるんだよ。

イヌ: イヌだ、ネコだということで、みんな一緒に見られてしまっているところがあるよね。

ネコ: ほんと、ほんと。全く逆感な話だよ。みんな一緒に見るんじゃなくて、もっと、一匹一匹のことをちゃんと見てほしいよね。

イヌ: 同感だね。ところで、ネコさんの血液型は何型？

ネコ: そんなこと、見たら分かるでしょ。

イヌ: どれどれ。分かった、B型でしょ。

ネコ: ちがう、ちがう。真面目で、慎重に行動するA型よ。

イヌ: え〜。ネコさんがA型？マイペースで計画性がないB型かと思ったよ。

ネコ: そりゃあひどいね〜。そういうイヌさんは何型？

イヌ: 見たら分かるでしょ。

ネコ: ラ〜ん、分かった、O型でしょ。

イヌ: ちがう、ちがう。器用で、多趣味なAB型よ。

ネコ: うそー。細かいことを気にせず、負けず嫌いなイヌさんは、てっきりO型かと思ったよ。

イヌ: なんか笑っちゃうよね。やれA型だの、B型だのと血液型でみんな同じ性格みたいに見えるところがあるけど、他にもそんなことってあるのかなあ。

イヌ、ネコ: どうですか？みなさんには、私たちに同じような経験はありますか？

資 料 6

こんなことで、決め付けた見方をしていることはありませんか？

○血液型で ○出身県で ○職業で ○性別で ○生年月日で

○外国人で ○子どもで ○高齢者で ○兄弟姉妹で

○都会と田舎で ○鳥取県の東部と西部で ○外見で

○服装や持ち物で ○親の職業や財産で

資 料 7

偏見と差別をなくすために

【決め付けの例】

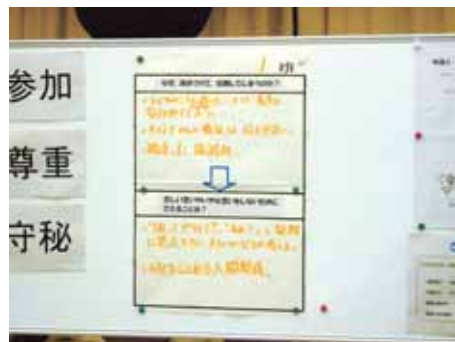
△「○○県民は……だ」
 △「最近の○○は……だ」
 △「社のくせだ……」
 △「男のくせだ……」

【決め付けを見抜く】

○「マイナスイメージで一面的に見るのは間違い」
 ○「あの人は△△にちがいない」「みんな○○だ」と決め付けない。



グループでの話し合い



模造紙にまとめました

その2

それってホント？

実施日：平成22年11月25日 参加者：小学生保護者30名

① ねらい

- 先入観や思い込みによって、人をひとくくりに判断するのではなく、その「人」自身を理解し、認め合うことの大切さに気づく。
- 固定観念→偏見→差別という意識から行動化へ向かう心の仕組みについて理解する。

② 学習プログラムの流れ

<実施時間：75分>

流れ	分	学 習 活 動	資料・準備物等
はじめに	5	1. ファシリテーターの自己紹介	3つの約束「参加」「尊重」「守秘」のカード
導 入	5	2. 「話し合いのルール」確認	
展開 1	5	3. アイスブレーキング 同じ月に生まれた人同士が集まりグループをつくる。	
	5	4. 『話の素材』を全員に配り、全体の中で、イヌ・ネコ役各1名を決め、代表者が読む。	話の素材
展開 2	10	5. 各自の「固定的な見方」や「決めつけ」をキーワードに、自分のエピソードを思い出し、グループで話し合う。(嫌な思いをしたり、させたりしたこと) ※なかなか思い出せない人のために、資料3を掲示する。	資料3
	5	・2～3のグループに発表してもらう。	白模造紙1、マジック
展開 3	20	6. 各自の「固定的な見方」や「決めつけ」は、どのように植えつけられたかを振り返る。また、なぜ「～だ」と決めつけて信用してしまうのかについてグループで話し合い、模造紙にまとめる。	
	5	・2～3のグループに発表してもらう。	
まとめ	10	7. 子どもが、固定観念や偏見を持たないようにするために、保護者としてできることをグループで話し合い、模造紙に記入する。	資料4
	5	8. グループで話し合ったことを発表し合う。(全グループ)	
	5	9. 「差別意識を生み出す構造」(固定観念から偏見・差別につながる過程)について説明し、理解を図る。	

ファシリテーター：市町村人権教育推進員

③ 実践してみてもいい(次の方へのアドバイス)

- 75分の時間設定でしたが、参加者が「気づき」、「考え」、「行動」するところまで、時間内で押さえることができました。
- 展開2の「どうしてこうした考えが植えつけられるのか」を考える活動につなげるために、展開1の「決めつけ」の内容を模造紙に書いて見えるようにしておくことも考えられます。



- 他の人と違う意見を持つと不安だったり、多数に流されてしまったりするのはなぜかを考えることも、「子どもが固定観念を持たないために」の解決の糸口につながると思います。
- 固定観念がどうしていけないかを話し合うことも大切であると思います。
- まとめの **資料4** の「固定観念」→「偏見」→「差別」の過程への説明は、差別の構造が参加者に分かりやすいと思います。また、**資料4** を使った説明を、展開2の後に行うことも考えられます。

4 参考

1 それってホント？

話の素材 (学習資料)

イ: やあネコさん、お久しぶり。

ネ: (少し元気がない様子)

イ: ネコさん、なんか元気がないみたいだけど、どうしたの？

ネ: イヌさんはいいよね。三日酔ったら主人のことを忘れられないほど愚痴か、夜も寝て置いてみんなから言われてるもんね。それに比べてネコなんか、気まぐれで餌いまのことを要するとか、見かけは猫や犬でも内臓は違うと思われたり、あげくのは死んだらばけて出るなんて思われたりして、いいことなんて全然ないもんね。

イ: 確かにそんなことを言われることもあるけど、全部のイヌがそうとは思わないよ。それよりネコさんは、高い所から落ちて足から落ちてけがをしないんでは。

ネ: そんなふうに思われているところもあるみたいだけど、でもそれで高い所から落とされてひどい目に遭った友だちもいるんだよ。

イ: イヌだ、ネコだということ、みんな一緒に見られてしまっているところがあるよね。

ネ: ほんと、ほんと。全く迷惑な話だよ。みんな一緒に見るんじゃなくて、もっと、一匹一匹のことをちゃんと見てほしいよね。

イ: 肉感だね。ところで、ネコさんの血液型は何型？

ネ: そんなこと、見たら分かるでしょ。

イ: どれどれ、分かった、B型でしょ。

ネ: ちがう、ちがう。真面目で、慎重に行動するA型よ。

イ: えー。ネコさんがA型？マイペースで計画性がないB型かと思ったよ。

ネ: そりゃあひどいね。そういうイヌさんは何型？

イ: 見たら分かるでしょ。

ネ: うーん、分かった、O型でしょ。

イ: ちがう、ちがう。器用で、多趣味なAB型よ。

ネ: うそー。細かいことを気にせず、負けず嫌いなイヌさんは、てっきりO型かと思ったよ。

イ: なんか笑っちゃうよね。やれA型だの、B型だのと血液型でみんな同じ性格みたいに見えるところがあるけど、他にもそんなことあるのかなあ。

イ、ネ: どうですか？みなさんには、私たちと同じような経験はありますか？

資料 3

こんなことで、決め付けた見方をしていることはありませんか？

○血液型で ○出身地で ○職業で ○性別で ○生年月日で

○外国人で ○子どもで ○高齢者で ○兄弟姉妹で

○都会と田舎で ○鳥取県の東部と西部で ○外見で

○服装や持ち物で ○親の職業や財産で

資料 4

差別意識を生み出す構造

① 当社で初めて〇〇大卒のAさんを採用したが、彼女は仕事ができない。 **事実**

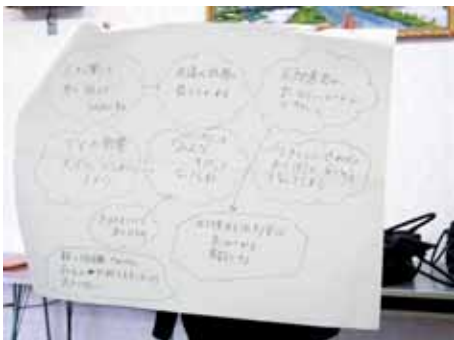
② 〇〇大卒は、仕事ができない。 **固定観念**

↓

③ 〇〇大卒は、仕事ができないので役に立たない。 **偏見**

↓

④ 〇〇大卒は、仕事ができず役に立たないから、今後は採用しない。 **差別**



信用してしまうのはなぜか



意識の変化の過程を説明

① ねらい

多様な考えにふれ、自分の人権意識をふりかえるとともに、人権を尊重することをふまえて人とのかかわりを持つことについて考え、暮らしの中で実践する意欲をもつ。

② 学習プログラムの流れ

<実施時間：75分>

流れ	分	学 習 活 動	資料・準備物等
導 入	10	○アンケート記入 1. ねらいと進め方の説明（簡単に） *ねらいについては、「自由におしゃべりしてもらい、どんな意見が出たか発表してください。」程度。	
F 1		2. プラスαで自己紹介 「うちの子自慢」、「このごろおいしかったもの」を話題にして、自己紹介をする。	
展開 1	5	3. 研修のルールについて（F 1） 4. 司会、記録を決め、(①②で交代してもよい。) 具体的な進行の仕方を説明する（F 1）	ルールの掲示物 (ホワイトボード)
F 1		5. 話し合い① ○話し合い② ○話し合い③ *自由におしゃべりをする。 ・「賛成」「反対」「分からない」の意思表示を理由とともに話す。 ・それぞれの立場から突っ込んで考えを聞いてみる。 ・分からないといった人は最終的にどっちの意見になったか聞く。	尊重 参加 守秘 話の素材カード1~4
F 2	各15	6. 発表 ・5グループ程度、発表したいグループを中心に。 ・問題と思われる考え方については、修正の方向にコメントする。 ・ホワイトボードに発表内容を書く。（F 2）	記録用紙
まとめ	10	7. おしゃべりをふりかえる。 *「おしゃべりカード」プロセスシートの記入 *プロセスシートを元に、おしゃべりの感想など述べてもらう。	プロセスシート
F 2		*今日の研修の意味を伝える。	(資料配付)
F 1	5~	・自分が何を根拠に意見を言っていたか（経験や偏った見方をしていなかったか）。→資料 世界人権宣言 子どもの権利条約	世界人権宣言
	8	・自分の思いを言う、人の意見を聴く、納得できる話し合い等は自他の人権が尊重されていると感じると可能であることを伝える。 ・家庭（家族）や地域での人とのかかわりについてふりかえるよう促す。 ・相手が子どもであっても、その権利を尊重しつつ関わっ	子どもの権利条約 権利とは (人権教育課HP資料)



2	<p>ていくことが大切であること、さらに親には子どもの育つ権利(子どもの権利条約第5条)を保障する必要があること。</p> <p>*まとめ(F1 F2が一言ずつ思いを伝える)</p> <p>F1からは、「権利とは」の資料について、一言添える。</p> <p>○アンケート記入</p>	
---	---	--

ファシリテーター：F1 学校PTA役員 F2 県教育委員会事務局職員

実践してみましたコーナー その③ おしゃべりカード

③ 実践してみてもいい(次の方へのアドバイス)

- 今回15分×2テーマ(30分)を取り上げ、グループで話し合いをしましたが、状況により話題が尽きているようであれば、テーマを増やすこともできます。
- タトゥーやフィルターの用語が分からない方があれば、事前に説明するといいでしょう。
- 「職業の自由」「プライバシーの保護」などカード例の説明があると、「権利」との関係を意識づけることにつながります。
- プロセスシートは、書いてもらうだけにして、見せ合わないで意見交換をする中で自分を振り返ることがいいようです。
- 「子どもの権利条約」をもとに、カード例の内容について再度振り返ることは、今後の家庭での子どもとの関わりを考えるうえでヒントになるようです。

④ 参 考

2 おしゃべりカード

～その時あなたは、どうする? どう思う?～

話の素材(学習資料)

どうする? その1

あなたのお子さんが、ピアスをしたいと相談してきました。あなたは、どうする? どう思う?



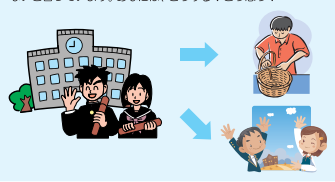
どうする? その2

あなたのお子さんが、スポーツ少年団に入りたいと言っています。スポーツ少年団に入るには保護者の送り迎えが必要ですが、あなたは仕事で送り迎えができません。そんなときあなたならどうする? どう思う?



どうする? その3

あなたの子どもが、中学を卒業したら職人の道をめざすために高校は行かないと言っています。あなたは、どうする? どう思う?



どうする? その4

高校の入学祝いに携帯電話を買いました。本人に責任を持たせるためにも、フィルター設定をせずに契約しました。しかし子どものことが心配となり、携帯電話を見てしまいました。あなたは、どうする? どう思う?



フィルター設定
フィルター設定とは、携帯電話やパソコンから一部のサイトにアクセスできなくさせることで、携帯電話利用時などに行うこともできる。(フィルタリングサービス、又は「有害サイトブロック(制限サービス)」と呼ばれる。)未成年や18歳未満の子どもが危険なサイトにアクセスしないよう遮断することが主な目的である。

素材その _____

素材その _____

「おしゃべりカード」プロセスシート

この活動を通して

1. あなたは自分の意見を考えるとき、何を根拠にしていますか。(今までの経験? 聞いた話? そのほか?)

2. あなたは、どれくらい言いたいことが言えましたか?

不 充 分 ← → 充 分

気持ちに近いところに
印をつけてください。

★どのようなことからそう思いますか?

3. グループは、どれくらい聴き合っていたと思いますか?

不 充 分 ← → 充 分

★どのようなことからそう思いますか?

4. 自分の意見と違う意見に対して納得できる話し合いができましたか?

不 充 分 ← → 充 分

★どのようなことからそう思いますか?

5. おしゃべりの中で、自他どもの人権は尊重されていましたか?

不 充 分 ← → 充 分

6. このおしゃべりの相手が子どもであっても同じような話になったでしょうか?

★自分の考え方の特徴や、メンバーの考え方の特徴について気づいたことは?

★その他、気づいたこと、感じたことを自由に書いてください。

世界人権宣言



No.	権利の内容	No.	権利の内容
第1条	人間は自由、みんな大切な仲間だ	第16条	2人の合意で家族をつくれる
第2条	みんな平等、差別はダメ	第17条	誰もわたしの財産を奪えない
第3条	生命、身体の安全が守られる	第18条	信念・信仰は自由だ
第4条	奴隷・苦役はダメ! 絶対	第19条	自由に語れる、自由に聞ける
第5条	拷問・非人道的取り扱いはダメ	第20条	集会を開ける、サークルを作れる
第6条	ルールは人間の大切さを前提に	第21条	ルールを決めるのに参加できる
第7条	ルールは差別を認めてない	第22条	社会はみんなの人間らしきを守ってる
第8条	困った時は助けを求められる	第23条	自由に豊かに働ける
第9条	取り調べはきちんとした手続きの上で	第24条	しっかり休憩できる
第10条	裁きは公正に	第25条	健康第一
第11条	容疑者=犯人とは限らない	第26条	良い教育を受けられる
第12条	プライバシーが保てる	第27条	文化を楽しみ、文化を創れる
第13条	住みたいところに住める	第28条	権利と自由の実現を社会に求められる
第14条	危険なところからは避難できる	第29条	自分の権利は他人の権利を尊重しながら
第15条	国籍を持てる、国籍を選べる	第30条	他人の権利を奪う<権利>はない

資料2 子どもの権利条約について(参考)

子どもの権利条約のあらまし

我が国が平成6(1994)年に批准した児童の権利に関する条約(子ども権利条約)では、子どもにかかわる全てのことは、子どもにとってもっともよいことは何かを考えて行われなければならないと定められています。
また、子どもの持つ権利が約40条あげられていますが、それらは以下の4つに大きく分けられます。

生きる権利

- 病むことのできる病気などで命を奪われないこと。
- 病気やけがをしたら治療を受けられること。



育つ権利

- 教育を受け、休んだり遊んだりできること。
- 考えや感じることを自由が守られ、自分らしく育つことができること。



子どもの権利

守られる権利

- おらゆる種類の虐待や子どもの幸せを奪って利益を得るようなことから守られること。
- 障がいのある子どもや少数民族の子どもなどは特別に守られること。



参加する権利

- 自由に意見を言ったりすることができ、子どもの発達に際してその意見が考慮されること。
- 集まってグループを作ったり自由な活動をしたりできること。





【人権教育をめぐる動向】その2 「権利」＝「正しい」ということ

前回(vol.1)は「世界人権宣言」をテーマにしましたが、今回は改めて「そもそも権利とは何か」という点について、少々長くなりますが、高校の教科書『高校政治・経済』（実教出版）の「第1章 民主政治の基本原理」第1節「人権の世紀」の記述を紹介しながら確認しておきたいと思います。

「権利」と「Right」

【実際の教科書本文は白黒です】

「人権」は、英語でいえば、“Human Rights”の訳語である。しかし、「人権」と“Human Rights”が、本当に同じ意味かというと、どうも両者にはかなりのへだたりがあるように感じられる。その原因は、そもそも、英語でいう“right”に「権利」という訳語をあてたことにありそうである。“Right”という英語の言葉のもつ意味と「権利」という日本語の言葉のもつ意味は、語感的には相対するがある。そして、このことが、じつは、日本における「権利」あるいは「人権」に対する人々の意識に、微妙に影響を与えていると考えられるのである。

英語の“right”という言葉には、「権利」のほか「正しい」という意味がある。「ほかに」というのは、じつは正確ではない。日本語では「権利」と「正しい」という別の意味を与えられているが、英語の“right”という言葉がもともと2つのちがった意味をもっていたわけではない。“Right”の本来の意味は「正しい」という意味である。だから、日本語で「権利」と訳されている“right”とは、本来は、「正しいこと」という意味なのである。Right（権利）は right（正しい）だから right（権利）なのである。これが“right”という言葉の、そもそもの意味である。ところが、日本語の「権利」という言葉には、「正しい」という意味は含まれていない。逆に、「権」という言葉は「力（power）」という意味を含んでいるから、「権利」は、自分の利益を力づくでおし通すといったニュアンスをもつ。だから、「権利ばかりを主張するのは問題だ」といわれたりする。しかし、この命題の「権利」を“right”におきかえてみれば、それが成り立たない命題であることがすぐわかる。「right（正しいこと）ばかりを主張する」のに何の問題もないはずだからである。

人間として正しいこと

「権利」は英語で言う right の訳語であるから、その本来の意味は、「正しいこと」という意味である。したがって、「人権」つまり“Human Rights”とは、「人間として正しいこと」という意味になる。この、“Human Rights”の本来の意味は——日本語の「人権」という言葉にはそういう意味が含まれていないだけに——、つねに意識されなければならない。

このことが意識されていけば、人権侵害は、「人間として不正なこと」つまり人間としてしてはならないことだということが、容易に理解されるであろう。逆に、また、人権の主張は、それが「人権」だから（憲法に書かれてあるから）というのでなく、「人間として正しいこと」だという主張でなければならない、ということ、つまり、権利を主張する者は「正しさ」を弁証する責任がある、ということも、理解されるであろう。

この場合、何が「人間として正しいこと」かは、人によって判断がわかれることも多いであろう。それぞれの人の価値観、人生観、世界観によって、「正しさ」の判断基準は当然ちがってくると思われるからである。しかし、そうであるからこそ、それぞれの人の異なった価値観、人生観、世界観を正面からぶつけ合うことが必要となる。そして、そのことを通じて、「正しさ」についての社会的コンセンサスが形成されてはじめて、本当の意味で日本社会に人権価値が根づくこととなるはずである。

何事も基本を大切にしながら取り組みたいものです。「正しいこと」の実現に向けた実践として人権教育があるということを確認しながら取り組みたいと考えています。



カード例について話し合い



人権教育研修会の様子

その4

一人一人が輝く素敵な学校を一緒に作りませんか？

実施日：平成22年10月20日 参加者：小学校中学年児童43名 保護者23名

① ねらい

人権が尊重され、子どもたちが楽しく、自分らしく生活できる素敵な学校であるために必要なことを話し合い、個人やPTAとしてできそうなことを考える。

② 学習プログラムの流れ

<実施時間：50分>

流れ	分	学 習 活 動	資料・準備物等
はじめに	5	1. ねらい、進め方の説明をする。	ホワイトボード マジック
展開1	10	2. 素材をもとに、個人でランキングをする。	話の素材カード版 ワークシート
	7	3. 個人の考えを持ち寄って、グループとしてのランキングを考え、1番にランクされたことを人権のかけ橋の中心に記入する。 (ワークシートにカードを並べる作業を通してランキング)	
展開2	8	4. 3でランキング1位に選んだような輝く学校であるために必要なことをグループで考える。 (付箋に書いて模造紙に貼る。)	付箋 模造紙 マジック
	10	5. グループで出てきた意見を関連するものでまとめ、「自分たちがすること」をまとめワークシート「人権のかけ橋」に記入する。 (「おうちの人へのお願い」「学校・地域へのお願い」については、意見ができれば記入する)	資料1 人権のかけ橋
	5	6. グループごとに模造紙にまとめたものを掲示し、みんなで見回ることによって他のグループの考えを知る。	セロハンテープ
まとめ	5	7. まとめ (価値付け…研修のねらいと発表された意見をつなぎ、実践への意欲付けをする)	

ファシリテーター：学校教員

③ 実践してみて(次の方へのアドバイス)

- 50分で実施しましたが、90分程度の時間で実施すると、話し合いと作業がより深まりのあるものになると思います。
- 子どもにも分かるようにファシリテーターが説明することが大切です。
- 「人権のかけ橋」のワークシートは、グループに1枚でもよいようです。「人権のかけ橋」への記入と模造紙への記入がありますが、設定時間に合わせてどちらか一方にしてもよいと思います。
- 作業に意識が向いてしまわないよう、話し合いの時間を大切にしましょう。
- 保護者同士、児童同士でグループをつくりましたが、お互いが理解し合えるような場面の工夫があると一層深まりのある学習をなると思います。

実践してみましたコーナー その④ 一人一人が輝く素敵な学校を一緒に作りませんか？

4 参 考

一人一人が輝く素敵な学校を一緒に作りませんか？

話の素材 (学習資料)

素敵な学校であるためには、
どれが大事？

施設・設備 設備が充実し、近代的な設備・環境が整った学校	体験・行事 子どもの体験を重視した行事を盛り上げる学校	地域に開く 地域の人材活用と、地域との交流が盛んで、地域に開きや連携が図られる学校
授業 わかりやすく、楽しい授業の提供、学力をつける授業を行う学校	規律 規律や規則が守られ、善悪の区別ができる子どもを育てる学校	部活動・課外活動 部活動などに積極的に取り組む学校
人間関係 先生や子ども同士の人間関係に配慮した学校	安心・安全 安全が守られ、安心して生活できる学校	感性・思いやり 感性豊かな子ども、思いやりにあふれた学校
		自己実現 一人一人の良さが認められ、のびのびと生活できる学校


ワークシート

◆大事だと思うものから順番に
べましよう

①

②

③



資料

資料1 人権のかけ橋のワークシート


学校では

大事にしたいこと

PTAでは

地域・家庭では

人権のかけ橋




どんな学校にしたいかランキング



実践してみましたコーナー

その④ 一人一人が輝く素敵な学校を一緒に作りませんか？

その5

一人一人が輝く素敵な学校を一緒に作りませんか？

実施日：平成22年10月20日 参加者：小学校高学年児童52名 保護者21名

① ねらい

人権が尊重され、子どもたちが楽しく、自分らしく生活できる素敵な学校であるために必要なことを話し合い、個人やPTAとしてできそうなことを考える。

② 学習プログラムの流れ

<実施時間：50分>

流れ	分	学 習 活 動	資料・準備物等
はじめに	5	1. ねらい、進め方の説明をする。	ホワイトボード マジック
展開1	10	2. 素材をもとに、個人でランキングをする。	話の素材カード版 ワークシート
	7	3. 個人の考えを持ち寄って、グループとしてのランキングを考え、1番にランクされたことを人権のかけ橋の中央に記入する。	
	8	4. 3でランキング1位に選んだような輝く学校であるために必要なことをグループで考える。 (付箋に書いて模造紙に貼る。)	付箋 模造紙 マジック
展開2	10	5. グループで出てきた意見を関連するものでまとめ、「自分たちがすること」「おうちの人へのお願い」「学校・地域へのお願い」を「人権のかけ橋」に記入する。	資料1 人権のかけ橋
	5	6. 各グループごとに模造紙にまとめたものをもとに代表が説明をする。	セロハンテープ
まとめ	5	7. まとめ(価値付け…研修のねらいと発表された意見をつなぎ、実践への意欲付けをする)	

ファシリテーター：学校教員

③ 実践してみても(次の方へのアドバイス)

- 50分で実施しましたが、学習を深めるために、90分程度の時間設定ができるといいです。
- 付箋に書いて模造紙に貼りまとめる作業と、「人権のかけ橋」に記入する作業のねらいをはっきりさせ、参加者に具体的に説明することが大切です。また、作業が中心にならないよう、話し合いの時間を確保するようにしましょう。

実践してみました「コーナー」その⑤一人一人が輝く素敵な学校を一緒に作りませんか？

4 参 考

一人一人が輝く素敵な学校を一緒に作りませんか？

話の素材(学習資料)

施設・設備 冷房完備で、近代的な設備・環境が整った学校	体験・行事 子どもの体験を重視し、た行事を盛り上げる学校	地域に開く 地域の人材活用など、地域との交流が盛んで、積極的に地域が活用される学校
授業 わかりやすく、楽しい授業の提供、学力をつける授業を行う学校	規律 規律や規則が守られ、義務の役割ができる子どもを育てる学校	部活動・課外活動 部活動などに積極的に取り組む学校
人間関係 先生や子ども同士の人間関係に配慮した学校	安心・安全 安全が守られ、安心して生活できる学校	感性・思いやり 感性豊かな子ども、思いやりにあふれた学校
		自己実現 一人一人の良さが認められ、のびのびと生活できる学校

素敵な学校であるためには、どれが大事？

資料

資料1 人権のかけ橋のワークシート

学校では

PTAでは

地域・家庭では

大事にしたいこと

人権のかけ橋

ワークシート

◆大事だと思うものから順番に並べましょう

①

② ②

③ ③ ③

④ ④

⑤ ⑤

◆そう思った理由

◆グループでの話し合いの結果

①

—メモ(グループの主な意見、自分の考え、等)



実践してみましたコーナー その⑤ 一人一人が輝く素敵な学校を一緒に作りませんか？



輝く学校にするためにできることは？



グループによる話し合い

① ねらい

「あいさつ」を通して、①子どもの安全を守ること、②親子や地域の方とより良い人間関係をつくること、③子ども自身が自分は大切にされていてかけがえのない存在であることといった観点で話し合うことを通して、お互いが大切にされていると感じられる地域づくりのためにPTAとしてできることを考える。

② 学習プログラムの流れ

<実施時間：60分>

流れ	分	学 習 活 動	資料・準備物等
導 入	5	1. 学習プログラム名と意図の説明。 ・あいさつと人権について学習すること。 ・話し合いのルールの確認 （参加、傾聴、時間、守秘の確認） 2. アイスブレイキング ・歩きながら笛の合図で2人組になる。 ・2人組で簡単なゲームをする。 ・歩きながら笛の合図で4人組になる。 ・座って簡単な自己紹介をする。 ・司会者、発表者を決める。	ホワイトボード マグネット ルールの短冊 笛
展開1	10	3. 「話の素材」を読んで、感想を話し合う。 ・子どもの対応の違いなどについて、自分自身のエピソードや地域での様子を織り交ぜながら話し合う。 ・2、3のグループが、出た意見を発表する。	話の素材
展開2	10	4. あいさつや声かけが子どもにとってどんな良さがあるか話し合う。 ・2、3のグループが出た意見を発表する。 ・出てきた意見を、人権と関わる安心・安全、人間関係、自尊感情などにまとめ、次の話し合いにつなぐ。	ワークシート ホワイトボード
展開3	15	5. 子どもたちにとってのあいさつや声かけをさらによいものにしていくために、PTAや家庭で取り組めることを話し合う。 ・展開2でまとめた人権の視点を中心に話し合う。 ・グループで出た意見の中で、自分のグループで特に取り組んでみたいものを1つ決める。	ワークシート
展開4	15	6. 話し合いで出た意見や気づいたことについて発表する。 ・お薦めの取組を発表する。	
まとめ	5	7. ファシリテーターが「学習のポイント」をもとに感想を話す。 ・日頃何気なく行っているあいさつが、いろいろな人権の視点につながっていること。 ・資料を配りポイントになるところを1、2話す。 ・グループで一緒になった人と握手をしてあいさつする。	ホワイトボード 資料1～2 （持ち帰り資料）

ファシリテーター：県教育委員会事務局職員





③ 実践してみても(次の方へのアドバイス)

- 60分で実施しましたが、グループ討議を深めるためには、もう少し時間に余裕があるといいようです。
- 「あいさつ」は、誰もが話しやすく行動化に向けて具体的な話につなげやすいテーマです。留意する点として、「あいさつ」と「権利」との関係をしっかり結びつけ、「あいさつ運動」の見直しのための協議にならないよう人権の視点をもって話し合いが行われるようにすることが大切です。
- 話し合いが「あいさつ」についての一般的な話にならないよう、家庭や地域の課題を明確にしたうえで、今後の具体的な取組に話が発展することが大切です。

④ 参考資料

4 あいさつで人権尊重のまちづくり?!

話の素材(学習資料)

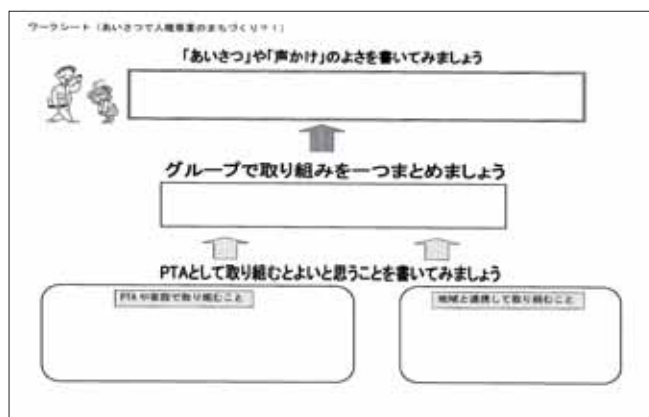
あいさつ運動
○○市PTA

1 地球のみなさんも、子どもへの声かけをお願いします。

2 ーおじちゃん、おじちゃん、おじちゃん、頼に来てくれたの、ありがとう。ー ○○ちゃん、おかえり。先週の学習発表会、がんばってたね。

3 おかえり。 ーただいま、ー

4 不審者に間違われた?… あいさつ運動に協力しようと思っただけなのになあ…



進行用ホワイトボード



アイスプレーキング資料

① ねらい

子どもの気持ちを受け止め、親子のコミュニケーションを深めていくということや、大人も良好な人間関係を築くため、自分の意見や考えを伝えることの大切さを理解する。

② 学習プログラムの流れ

<実施時間：45分>

流れ	分	学 習 活 動	資料・準備物等
はじめに	5	1. ファシリテーターの自己紹介 2. 学習の進め方について	
展開1	10	3. ファシリテーターが質問を読み、児童と保護者が「はい」「どちらかといえばはい」「どちらかといえばいいえ」「いいえ」の4つのゾーンに別れて、そこに移動した理由を話し合う。 ・各ゾーンに移動した理由についてインタビューする。 (展開1は導入的に軽く扱う) <質問内容> 児 童：「学校の給食は好き」 保護者：「学校の行事には参加している」	4つのゾーンの表示 ワイヤレスマイク 笛
展開2	20	4. 展開1と同様に、児童、保護者への質問を読み、4つのゾーンに分かれて話し合う。 ・各ゾーンに移動した理由についてインタビューする。 ・ゾーンに移動した理由を互いに聞き合い、親子の関わりに対する認識の違いを確認する。 (展開2は、時間をとって深く考える) <質問内容> 児 童：「家でお手伝いをしている」 保護者：「家で子どもとしっかり会話したり、たくさん遊んだりしている」	
まとめ	10	5. 児童や保護者の意見をもとに、親子のコミュニケーションが子どもの成長に影響を与えることや、家庭での親子関係の見直しの大切さについてまとめる。 ・ふりかえりシートに記入する。	ふりかえりシート

ファシリテーター：市町村人権教育推進員

③ 実践してみても(次の方へのアドバイス)

- 広い会場で実施する場合は、質問等が聞き取りにくくならないよう、マイクなどを準備するといいでしょう。
- 「4つのゾーン」の学習が単調にならないよう、質問内容は、軽いものからだんだん深い質問にしていきメリハリをつけると効果的です。



- 保護者と子どもに共通の質問を入れると、保護者と子どもの感じ方の違いが分かり、お互いの理解が深まりやすいです。
- ゾーンに移動した人数が少数の場合、そのゾーンの方へ配慮することと、質問に対する結果が、「親の責任論」になってしまわない工夫が必要です。
- 親同士が思いを出し合い、関わりあえるような質問内容を用意しておくとう効果的です。
- 4つのゾーンは、最初に意見が分かれるまでの手段とし、分かれてからお互い話し合う時間を大切にしましょう。

4 参 考

5 4つのゾーン

話の素材 (学習資料)

会場を4つのゾーンに分けます(表記してあるカードを置きます。)

はい	どちらかといえば、はい
いいえ	どちらかといえば、いいえ

質問例 親子の場合

A 学校は好きです(好きでした)。
 B 勉強は好きです(好きでした)。
 C 友だちと遊ぶのは好きです。
 D スポーツは好きです。
 E 読書は好きです。
 F けんかをした後すぐ仲直りができます。
 G 子どもの話(家の人の話)をしっかり聞いています。

人権学習プログラム ⑦ 4つのゾーン



4つのゾーンの説明



「はい」のゾーンの方に聞きました

① ねらい

ある状況におかれた人がどんな「言葉かけ」により良い方向に変わっていくのかを考え、話し合うことで相手の立場に立ったコミュニケーション能力の育成を図る。

② 学習プログラムの流れ

<実施時間：90分>

流れ	分	学 習 活 動	資料・準備物等
はじめに	10	1. アイスブレイキングを活用して自己紹介をする。 「この頃嬉しかった出来事」を入れて自己紹介	資料1 話の素材 模造紙 付箋
導 入	5	2. 「ひとつの言葉」の詩を聴く。	
展開1	20	3. 「話の素材」をもとに、「場面1」について話し合う。 ・個人で考えた言葉を付箋に書き、模造紙に貼り発表する。 ・グループで、出された意見について感想を述べる。 ・グループごとに考えを発表する。	模造紙 付箋
展開2	5	4. 発表を聞いて感じたことを話し合う。	
	30	5. 「場面2」について話し合う。 ・サチコへの「言葉かけ」について、自分なりに考えた言葉を付箋紙に書き、発表しながら模造紙に貼っていく。 ・サチコの心を変える言葉について、グループで話し合っ て決定する。	
まとめ	15	6. 班で決定した言葉をロールプレイで発表する。	資料4
	5	7. 学習のふりかえりをする。 ・相手を思い、相手の立場に立った真心のこもった言葉こ そが大切であること、また、抱きしめるなど心のこもっ た行動も同じ効果であることを説明する。	
	5	・「場面1」「場面2」について、本当にあった言葉かけに ついて紹介する。	

ファシリテーター：県教育委員会事務局職員

③ 実践してみても（次の方へのアドバイス）

- 90分間の学習でしたが、時間が経つのが早かったという感想が多かったです。
- 場面1、場面2では、子どもの性格など、少し説明があると考えやすいようです。
- いろんな考えや答えがあることを改めて理解できる内容です。
- 保護者の方にとっては、「自分ならどうするだろう」と、自分ごととして考えることができると思います。
- 親子関係に行き詰ったときに、怒るだけでなく子どもの心に届く言葉をかけたいという気持ちになるプログラムだと思います。



- 「場面2」では、保護者が子どもを迎えに行かなくても、それが普通だと思ってしまうな
いよう補足説明をしておくといいでしょ。
- 「ひとつの言葉」の詩は、参加者の心に響く詩で、帰ったら子どもに読んでやりたいと思
う方もあったようです。

4 参 考

6 心が動くひとつの言葉

話の素材(学習資料)

場面1

ユキを立ち直らせるには
どうしたらいいんだろう?

うざい、排除が勉強だと
うるせえんだよ。

ユキ、何で言ったら分かるんだ。
ちゃんと排除しなきゃだめだろう!

うるせえ!
何でかまうんだよ!!

卒業できたのは先生の
おかげだよ。あのときの
先生の言葉、忘れられないよ。

人権学習プログラム
⑧心が動くひとつの言葉
場面1

資料

資料1 ひとつの言葉

ひとつの言葉で暗暁して

ひとつの言葉で仲直り

ひとつの言葉で頭が下がり

ひとつの言葉で笑い合う

ひとつの言葉はそれぞれに

ひとつの心を持っている



きれいな言葉はきれいな心

やさしい言葉はやさしい心

ひとつの言葉を大切に

ひとつの言葉を美しく

人権学習プログラム
⑧心が動くひとつの言葉
場面2

場面2

中学生のサチコが万引きをした。普通なら保護者が警察に引き取りに行くのだが、サチコには父親しかいない。しかも、その父親は居酒屋をやっていて、準備の時間で引き取りに行けないというので、担任が、サチコを引き取りに行き、家まで送り届けた。非常に厳しい父親なので、担任は、サチコは絶対に父親に破られるだろうと思いながら居酒屋の扉を開けた。

問い 父親の言葉を聞いた担任は、サチコはもう二度と万引きをすることはないだろうなと思ったそうですが、どんな言葉をかけたと思いますか。皆さんが考えてみてください。

① ねらい

本質以外の要素で人を評価することがありがちであるが、そうした見方が、上下関係的な見方につながり、時として、他人を傷つけたり、偏見・差別につながることを理解する。

② 学習プログラムの流れ

<実施時間：60分>

流れ	分	学 習 活 動	資料・準備物等
はじめに 導 入	2 5	1. ファシリテーターの自己紹介と「話し合いのルール」確認 2. アイスブレイキング（1分×4人） 4人組で自己紹介をする。 ・所属氏名、あなたの好きな食べ物、あなたの自慢	3つの約束 「参加」「尊重」「守秘」 について説明
展開1	10	3. 「話の素材」を配り、グループで空白のセリフを出し合い、代表が発表する。 *肯定的意見、否定的意見など自由に話し合う。 *数グループの代表に出された意見を発表してもらう。	話の素材
展開2	15	4. 自分の子どもの結婚相手に対する条件として大切（重要）だと思うものを順にランキングを行い、個人の考えを持ち寄って、1位～3位までグループのランキングを決める。 ・ランキングの理由について話し合いながら決定するように説明する。	資料1 ランキングシート
展開3	10	5. グループのランキングと、当事者アンケートの結果を比較しながら、グループで感想を出し合う。	資料2 調査結果
まとめ	15 3	6. グループごとに、話し合いの中で出た意見や気づいたことを代表者が発表する。（2分×6グループ） ・内面的な評価が重視されていることに気づく。 7. ファシリテーターが、出された意見や「学習のポイント」によりまとめ、最後に資料「人の値うち」を朗読して終わる。 ・「猫の世界」での男性の発言は、本質とは無関係な要素で判断（評価）しているものであることに気づく。 ・人は、「家柄や父母の仕事」「学歴」「職歴・肩書き」「収入・財産」「衣類・装飾品」など、その人の本質以外の要素で判断してしまうことがありがちであるが、そうした見方は、上下関係的な見方「格差づけ」「見下し」につながり、時には、人を悲しませたり、人権侵害にもつながることがある。みんなが留意する必要があることを説明する。 ・最後に、「人の値うち」を朗読して終わる。	資料3 人の値うち

ファシリテーター：県教育委員会事務局職員



③ 実践してみてもいい(次の方へのアドバイス)

- 60分間の設定でしたが、話し合いを充実させるためには、もう少し時間があると良いです。
- 結婚相手に望む条件のランキングでは、個人作業として1位から5位までランキングをした後、グループで3位までランキングするようにしましたが、設定時間に合わせてグループのランキングを1位だけにすることも考えられます。
- 結婚相手に望む条件(当事者・親)は、資料2以外にもウェブサイト公表されているものがあり、参考にしました。
- まとめは、「学習のポイント」が参考となりました。結婚の話にとどめず、広い視点で人の評価についてまとめるのがコツだと思います。

④ 参考

9 猫の世界

話の素材(学習資料)

おひ、マリー！お前は血統書つきの10万円の猫なんだぞ！
のら猫なんかと違ふんじやない！

父

娘

資料

資料1 子どもの結婚相手に望む条件ランキング

1 あなたのお子さんが結婚するとした場合、結婚相手に望む条件として大切だと思うものを次の中から1位から5位までランキングしてみましょう。

記号	条 件	ランキング
A	性別、パーソナリティー	
B	血縁・子どもとの相性	
C	収入・経済力	
D	容姿・容体	
E	子どもの仕事に対する理解と協力	
F	二人の共通の趣味	
G	家事・育児に対する能力・姿勢	
H	二人の対等意識	
I	年齢	
J	センス	
K	職業	
L	自分たち親との同居	
M	親や(家)の親との別居	
N	学歴	
O	持ち家	
P	貯蓄・貯蓄額	

2 グループで話し合っってベスト3を決めましょう。

1位 2位 3位

1位に選んだ理由は

資料2 結婚相手の条件 (少子化に関する意識調査研究報告書「16.3厚生労働省」より)

○若年独身男性……20歳～32歳 独身
○成熟独身男性……33歳～49歳 独身
○若年男子家庭主夫……20歳～49歳 結婚 子ども無し 妻が20歳～31歳
○若年独身女性……20歳～30歳 独身
○成熟独身女性……31歳～49歳 独身
○若年男子家庭主夫……20歳～31歳 既婚 子ども無し 夫の年齢不問

図表2-1. 結婚相手の条件(回答3つまで)(歳数:全体)

条件	若年独身男性	成熟独身男性	若年男子家庭主夫	若年独身女性	成熟独身女性	若年男子家庭主夫
収入・経済力	100	100	100	100	100	100
容姿・容体	100	100	100	100	100	100
学歴	100	100	100	100	100	100
職業	100	100	100	100	100	100
年齢	100	100	100	100	100	100
性別・パーソナリティー	100	100	100	100	100	100
血縁・子どもとの相性	100	100	100	100	100	100
二人の共通の趣味	100	100	100	100	100	100
二人の対等意識	100	100	100	100	100	100
家事・育児に対する能力・姿勢	100	100	100	100	100	100
自分たち親との同居	100	100	100	100	100	100
親や(家)の親との別居	100	100	100	100	100	100
持ち家	100	100	100	100	100	100
貯蓄・貯蓄額	100	100	100	100	100	100

資料3 一人の憧うち

何時かもんべをはいて バスに乗ったら 隣座席の人は私を おぼはんと呼んだ

戦時中よくはいたこの活動的なものを どうやらこの人は年寄りの
番物と思っているらしい

よそよそしい着物を羽織を着て 汽車に乗ったら 人は私を奥さんと呼んだ
どうやら人の憧うちは 番物で決まるらしい

講演がある 何々大学の先生だと言えは 内容が悪くても
人々は耳をすませて聞き 良かったと思う
どうやら人の憧うちは 聞き書きで決まるらしい

名も無い人の講演には 人々はわざわざして得りを急ぐ
どうやら人の憧うちは 学歴で決まるらしい

立派な家の娘さんが 部落にお嫁に来る
でも生まれた子供はやっぱり 部落の子だと書かれる
どうやら人の憧うちは 生まれた所によって決まるらしい

人々はいつの日 このあやまちに気がつくであろうか

(『人の憧うち〜江口いと人権の時(うた)〜』 明石書店)

人権学習プログラムを活用してみました

実施PTA(団体)名		参加者数	人
実施日	平成 年 月 日()	所要時間	分
対 象	<input type="checkbox"/> 全校 <input type="checkbox"/> 学年(学年部) <input type="checkbox"/> その他()	学習会の持ち方	<input type="checkbox"/> 参観日と合わせて実施 <input type="checkbox"/> 単独で学習会を実施 <input type="checkbox"/> その他()
実施プログラム名			
学習プログラムを実施するにあたり工夫したところ			
実施してみたの感想(よかったところ・工夫改善がいたるところ等)			

この人権学習プログラムを「こんなふうに使ったよ。」という実践をお寄せください。皆さんからいただいた感想や、学習資料(細案、資料、ワークシート等)は、このプログラムの活用を検討されている方への参考になるよう、ホームページ等で紹介させていただきます。(実施PTA名は掲載しません。)

実践例は、下記宛に電子メール又はファクシミリで送信してください。

鳥取県人権教育調査研究委員会事務局宛(鳥取県教育委員会人権教育課内)
 電子メール:jinkenkyouiku@pref.tottori.jp ファクシミリ:0857-26-8176

学習資料(細案、資料、ワークシート等)の提供についても御協力をお願いします。



6 ふりかえりシート

学習の最後に、参加者のみなさんに「ふりかえりシート」を記入していただきますよう。

学習者にとっては、学習内容と自分との関わりを改めてゆっくりふりかえる時間となります。

また、企画者にとっては、本日の学習の「ねらい」を達成できたか評価する資料となります。

「ふりかえりシート」を例示していますが、学習内容に応じて工夫して活用してください。



ふりかえりシート

本日の人権学習をふりかえってお書きください。人権学習をより充実したものにしていけるための参考とさせていただきます。アンケートに御協力をお願いします。

【記入について】各設問について、当てはまるものを○で囲んでください。

問1 本日の人権学習の内容は、自分自身の日常に関する身近なことだと感じましたか。

ア はい イ どちらかといえばはい ウ どちらかといえばいいえ エ いいえ

問2 本日の人権学習は、新しい気づきや新たな疑問が生まれたりするものでしたか。

ア はい イ どちらかといえばはい ウ どちらかといえばいいえ エ いいえ

問3 本日の人権学習では、主体的に考えたり、話し合ったりすることができましたか。

ア はい イ どちらかといえばはい ウ どちらかといえばいいえ エ いいえ

問4 本日の人権学習は、今後の家庭やPTAの取組において役立つものでしたか。

ア はい イ どちらかといえばはい ウ どちらかといえばいいえ エ いいえ

問5 本日の「参加型」学習について感想をお聞かせください。(複数回答可)

ア 参加者の様々な意見が聞けた

イ 自分なりに話し合いに参加できた

ウ 特定の人が話したり、一方的に押し切られたり、話し合いがはずまなかったりした

エ 意見を言ったり書いたりするのが負担で、安心して学べなかった

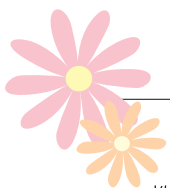
オ その他()

問6 本日の人権学習について感想を自由にお書きください。

御協力ありがとうございました

平成22年度 鳥取県人権教育調査研究委員会委員名簿

氏 名	所 属 等
北野真由美	NPO法人 えんぱわめんと堺/ES
佐藤 淳子	鳥取市人権政策監人権推進課
松田さつき	八頭町人権推進課
川本 均	智頭町本折隣保館
竹本美智子	倉吉市人権局やまびこ人権文化センター
大下 修一	鳥取県人権教育アドバイザー
加持谷典範	鳥取県人権教育アドバイザー
尾崎真理子	(社)鳥取県人権文化センター
松本 洋介	鳥取県教育委員会事務局東部教育局
藤井 仁志	鳥取県教育委員会事務局中部教育局
金田 和寿	鳥取県教育委員会事務局西部教育局
岸本 英夫	鳥取県教育委員会事務局人権教育課
舟木真佐人	鳥取県教育委員会事務局人権教育課
盛田 恭司	鳥取県教育委員会事務局人権教育課
岡本 律子	鳥取県教育委員会事務局人権教育課



本人権学習プログラム集は、文部科学省の委託事業として、文部科学省と鳥取県人権教育調査研究委員会が共同で実施した「社会教育による地域の教育力強化プロジェクト」における実証的共同研究の成果として作成したものです。

